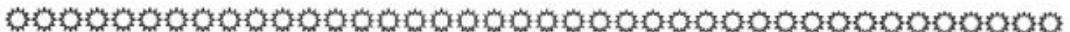


第2部

わが子の
「登校拒否」体験

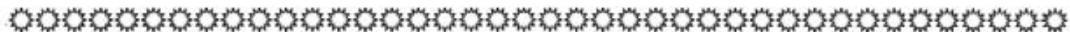
*おことわり：本文中に使用した写真は、本文・テーマとはいっさい関係ありません。



第2部では第1部で扱ってきた母親の子ども、小学1年生から6年生まで1,011名についてのデータを見ていく。母親に、小学校に在学する子ども（2人以上の場合には上の学年の子ども）について回答を依頼した。そのためもあって、サンプルは巻末集計表に示したように、学年が上がるほど多くなっている。小学1年生が79名、6年生は270名といった割

合である。

第2部の狙いは、教育相談機関等に来所するまでには至らなかった登校拒否近接のケースを、母親の報告を基に明らかにすることであり、それが第1部で見てきた母親の子ども時代の経験とどう違うのか、多少の比較も試みたい。



1. 行きしぶりの体験



■ 子どもの環境適応力 IIII

まず図2-1では、現在子どもの中にあって、登校拒否に多少ともつながりやすいと思われる性格特性、とくに「新しい環境への適応力」や「集団の中でのプレッシャーの受けやすさ」を見てみた。「とてもそう思う」は10%内外だが、「わりとそう思う」を合わせると20%から40%に達する。「ひょっとするとわが子も登校拒否に」という多くの母親の不安の源泉の一部でもありそうだ。

しかし図2-2で実際の経験をたずねると、幼稚園での適応は別として、小学校入学後は半数以上の子が「環境の変化にすぐ慣れる」

と答えられている。ただしよく見ていくと、入学時は別として「クラス替え」「担任がかわったとき」に不適応を示す子もわずかながらいることに気づく。また図2-3では学校不適応のサインと思われる項目を選んで、その出現頻度を見ている。「朝起きられない、遅刻しそう」を除くと、その出現頻度はどれもわずかでしかない。しかし図2-2と同様に、ここでもわずかではあるが「とても・わりとそう」と答えている者がいることを忘れてはならないだろう。

図2-1 わが子の性格

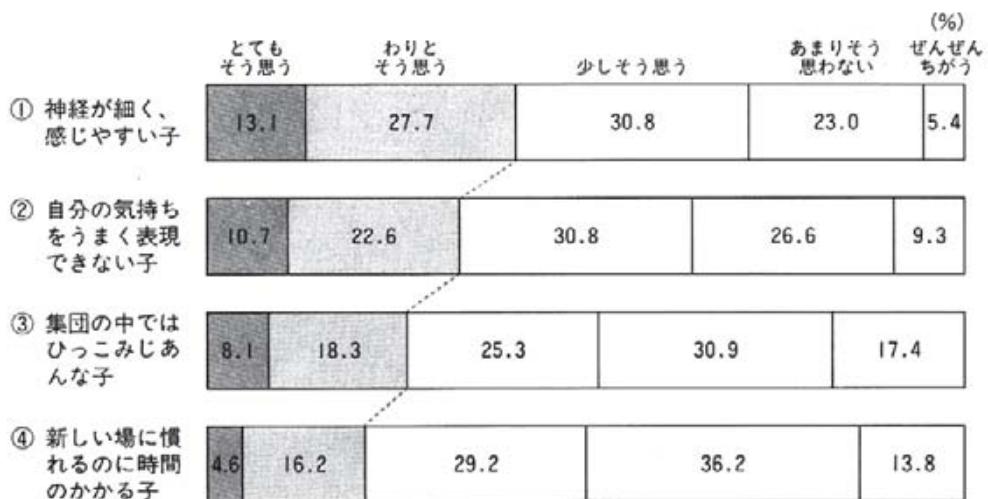


図2-2 子どもの環境適応力

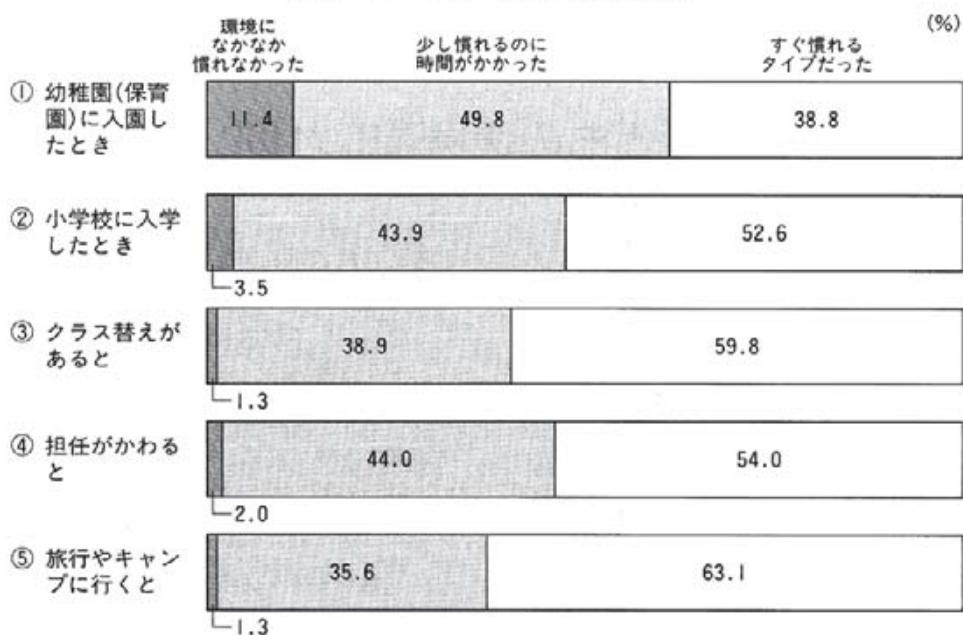
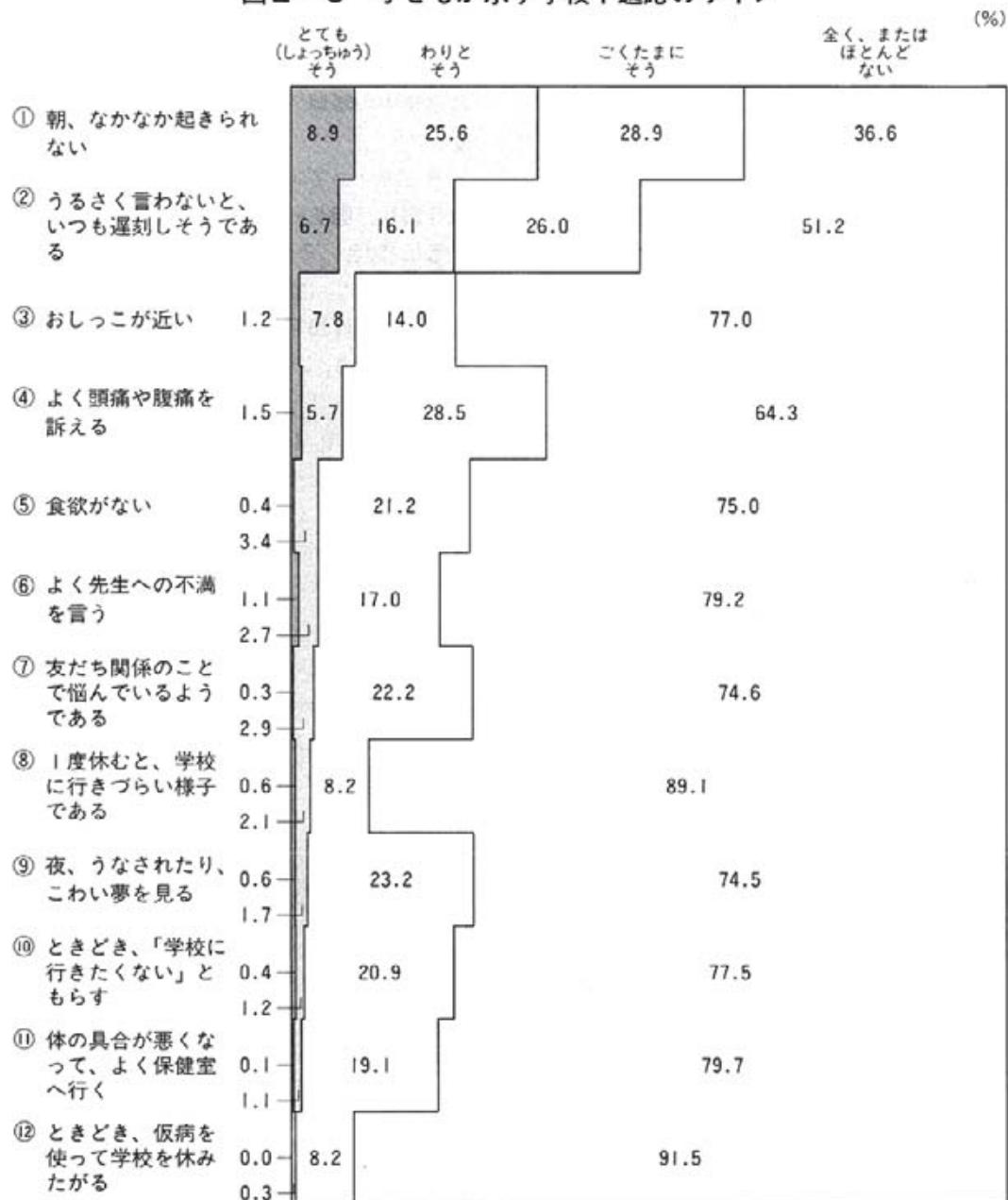


図2-3 子どもが示す学校不適応のサイン



■ 「登校拒否」傾向の出現率

さて次に、もう少しストレートに「行きしふり」体験の有無をたずねてみよう。

まず、幼児期の体験も含め、これまで子どもの行きしふりのため心配したことがあるかをたずねてみると、図2-4に示すように、「はっきりあった」9%、「少しあった」35%と、4割強の子どもたちが多少なりとも体験していることがわかる。全サンプル数1,011名の中で445名ほどの子どもが体験の所有者となるが、その中で幼稚園や保育園時代に「あった」子どもが311名(30.8%)、小学校に入ってから今までに「あった」子どもが292名(28.9%)となり、幼児期、小学校時代とも、ほぼ3割の母親がわが子の行きしふりを体験したことになる。一時的にせよ「学校に行きたがらない」子どもの問題は、どこの家庭にとっても対岸の火事ではないことになる。

さて小学校時代の中でも、行きしふりが起

こりやすい時期や学年があるのではなかろうか。

そこでサンプルの中から6年生のデータを取り出し、図2-5にまとめてみた。サンプル数は270名。そのうち、38%にあたる103名が行きしふりの経験者である。「はっきりあった」子どもは10%。1学級では、3~4人いることになる。行きしふりの時期は、下の円グラフにあるように、「1年生で」が最も多く、「入学の頃」も含めると33%になる。次が3~4年生あたりで、合わせると32%。高学年になってからはそう多くない。子どもの行きしふりに親が手をやくのは、幼児期から4年生あたりまでが一般的と言えそうである。しかし、むろん「何回も」繰り返す子ども(7%)もいて、臨床サイドとしては気がかりだ。またサンプル全体について学年別出現頻度をまとめたのが表2-1である。

図2-4 子どもが学校に行きしぶったこと

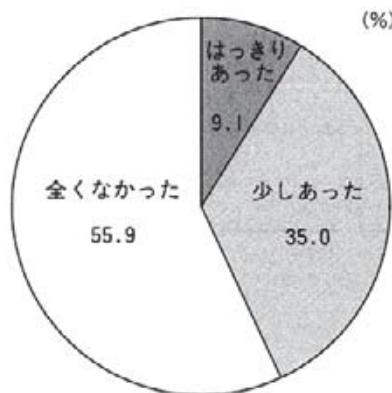


図2-5 子どもの行きしぶりの時期（6年生270人について）

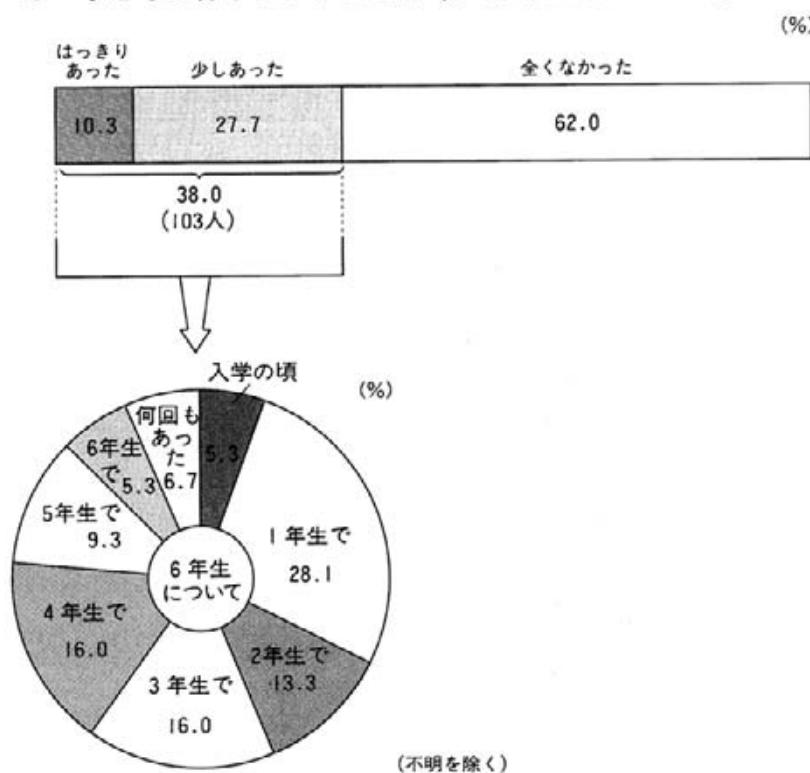


表2-1 学年別出現頻度

時期 学年	* ()は、学年ごとの出現率								サンプル数 〔 〕
	入学の頃	1年生で	2年生で	3年生で	4年生で	5年生で	6年生で	何回もあつた	
1年生	5人 (6.3)	11人 (13.9)						1人 (1.3)	[79人]
2年生	5人 (4.7)	16人 (15.1)	9人 (8.5)					1人 (0.9)	[106人]
3年生	2人 (1.8)	10人 (8.8)	8人 (7.1)	7人 (6.2)				3人 (2.7)	[113人]
4年生	3人 (1.5)	17人 (8.6)	10人 (5.1)	19人 (9.6)	7人 (3.6)			5人 (2.5)	[197人]
5年生	3人 (1.2)	17人 (6.9)	9人 (3.7)	9人 (3.7)	22人 (8.9)	11人 (4.5)		7人 (2.8)	[246人]
6年生	4人 (1.5)	21人 (7.8)	10人 (3.7)	12人 (4.4)	12人 (4.4)	7人 (2.6)	4人 (1.5)	5人 (1.9)	[270人]
全 体	292人 (28.9)								[1,011人]

(時期が不明の者を除く)

2. ケースの中から



「なぜ学校に行けないの？」登校拒否を起こしている子どもに対して、たいていのおとなたちはこうたずねる。しかし子どもには答えられない。まだ自己を客觀化したり分析したりする能力が発達していないからだ。「学校がこわい」とか「お母さんと離れるのがイヤ」と訴える子もいるが、何かの口実を探す子や体の症状で訴えている子のほうが多い。

こうした行きしふりの様子、そして子ども

が出している救助信号ともいべきものを、第1部にならって、書き込まれたケースの中から拾い出し、典型性の高いものを発達段階別にまとめてみた。(ただし記述された内容をみると、圧倒的に幼稚園時代と小学1年生時代のものが多い。そのため、幼児期から小学1～2年生あたりの事例が中心となっていく。)

■ 幼稚園時代 III

前章でふれたように、幼稚園時代に園に行きしふりで親を心配させた子どもは、全体の3割(311名)。全体の傾向としては入園時に1週間くらいというタイプが多い。母親との初めての分離や集団生活の課題に合うのだ

から、むしろ自然な反応かもしれない。ここでは、少し長期に行きしふりが続いた事例を取り上げたが、つまずき方は様々だ。

C-1は、おとなに囲まれて育ち、仲間集団にうまくなじめなかった。行きしふりに両

親は相当手こずらされ、父親は子どもを力づくで学校に連れ出した。2年間続いた後だけに、母親は、「今も心配」と書いている。幼少期に子どもの世界で生きる力をつけ損なったまま、集団生活を送らなければならない子どもはかわいそうだ。C-2は、未経験のこと、予測が十分できないことに直面するのが不安なタイプの子どもである。こうした子どもの不安にはおとながていねいに対応してやらないと引きこもりが強くなる。C-3の病欠の後の子どもの不安と同様に、家では母親の、

園では先生の配慮が必要だろう。C-4、C-5は母子分離不安が一時的に強くなり、母親にSOSを送っている事例である。またこの年齢の子どもは、不安に適切に対応してもらえないとい、C-6、C-7のように身体症状をあらわすことも多い。どちらもストレスから頻尿、腹痛、脱毛症（自分で抜いてしまうタイプの子もいる）になるほどの状況にあるとは思えないが、子どもたちにとっては深刻な状況だったのだろう。

事例●幼稚園時代 ((年齢), 性別, 行きしづりの期間)

CASE C-1 (幼稚園(4歳), 女子, 2年間)

①行きしづりの程度

はっきりあった。

②状態

朝、起こしても泣くばかりで行きたくないといって、手がつけられない状態でした。小学校に入学してからは、朝ぐずりながら泣き泣き行ったこともあります。幼稚園まで朝、車で毎日送っていき、幼稚園で父親がなぐったことまであります。それはやはり、自分の体のことでみんなにいじめられたせいもあります。とにかく、とても心配でした。今も心配しています。

③きっかけ

1. 友人との関係。
2. 学校の行事や授業。

子どもと子どもで遊ぶことができない。小さいときから、周りが全部おとなばかりだったからおとなと遊べても子どもと遊べない。

④時期

年中から年長まで。

⑤原因

1. 友人やクラスに問題があった。

2. 新しい環境に慣れにくいタイプだった。

CASE C-2 (幼稚園(4歳), 男子, 1年間) (小学4年生の転入時も)

①行きしづりの程度

少しあつた。

②状態

1. 幼稚園……グループ徒步通園する際、泣いて、ダダをこね、泣きながら通園していた。
2. 小学校(転入時)……朝、ふとんから出てくるのが遅いが、学校を休んでしまうという状態ではない。

③きっかけ

1. 友人との関係。
 2. 学校の行事や授業。
- 自分の経験したことのないような行事（例えば、親子レクリエーション、運動会、発表会等）に参加することが不安で、行事のある日は、朝からダダをこねている。

⑤原因

1. 性格的にひ弱だった。
2. 友人やクラスに問題があった。
3. 新しい環境に慣れにくいタイプだった。

CASE C-3
(幼稚園(4歳), 女子, 1年間)

①行きしぶりの程度

少しあつた。

②状態

病気で長く休み(1週間から10日くらい)、いざ行くとなると精神的に行きたくないという気持ちから、また体の具合が悪くなってしまったことが多かった。

4歳という年齢からか、友だちもつくりにくかったようで心配したが、5歳になってからはなおりました。

(たぶん担任の先生の接し方でよくなつたように思います。)

③きっかけ

1. 友人との関係。

2. その他。

休んでしばらくぶりに登園すると友だち関係で親しめなかったようです。そのとき、担任の先生がもう少し声をかけてくだされば、嫌気がささなかつたと思います。

年長になってから、先生にお願いして声をかけていただいたら、毎回休みあけでも喜んで登園しました。

④時期

幼稚園の年中(4歳)の春、秋、冬。風邪をひきやすいタイプの子です。

⑤原因

1. 担任の指導に問題があつた。
2. 友人やクラスに問題があつた。
3. 新しい環境に慣れにくいタイプだった。

CASE C-4
(幼稚園(4歳), 女子, 3か月間)

①行きしぶりの程度

はっきりあつた。

②状態

3年保育の幼稚園に入ることになり、入学前の2月より近所の人にあづけて、半日、となり町の医院にパートに行きました(看

護婦)。はじめは近所の家で遊んで、とても喜んでいました。4月からバスにのせてもらって、幼稚園にも元気に行きました。6月末になり、ときどき、おなかが痛いというようになり、幼稚園を休む日もあり、元気がなくなりました。8月には、半分仕事を行ったのですが、仕事に行く日は朝からしょんぱり、行かない日は元気でした。近所の家では私が行ってしまうと、元気に遊ぶようでした。夜もひどくねぼけて、泣きさけぶようになり、これではダメと私も考え、8月で仕事をやめました。そのとき、幼稚園に行かないでお母さんと一緒に家にいるといつていきましたが、2学期になると、子どもながらになんとかがんばって行きました。9月、10月の参観日に見に行くと、私に抱きついてきてしまい、大泣きして、離れませんでした。担任の先生に抱きかかえられて離されました。でも少しずつ元気になり、私もしかたないので、幼稚園の役員等、やっていました。

③きっかけ

その他。

子どもながらに、はじめはがんばっていたようですが、やはり私が仕事に行くのがいやだったのだと思います。

④時期

幼稚園年少組(4月生まれのため4歳)の6、7、9月。10月の参観日にも大泣きました。

⑤原因

1. 心の疲れがあった。
2. 家庭環境に問題があった。

CASE C-5
(幼稚園(4歳), 女子, 3か月間)

①行きしぶりの程度

少しあつた。

②状態

下の子が生まれ、周囲の目がそちらに注がれるようになり「生まれてこなければよか

った」と言い、親のそばを離れなくなった。しかし、休んだのは2～3日で、気がすすまないようでは具合が悪いと訴える日もあったが、送つていけば園では元気に遊んでいた。

③きっかけ

その他。

④時期

年少の1月（下の子が1月生まれ）～3月くらいまで。下の子との生活に慣れた頃からもとにもどった。

⑤原因

家庭環境に問題があった。

CASE C-6
(幼稚園(4歳), 女子, 3か月間)

①行きしぶりの程度

少しあつた。

②状態

いじわるな友だちがいて、泣いて帰ってきた翌朝。

もちつき大会の朝（もちが嫌いで食べられないため、神経性腹痛に）。

③きっかけ

1. 友人との関係。

2. その他。

友だちがおもらしをして、先生にひどくしかられるのを見てから、神経性頻尿性になり、トイレの回数が増えたことで友だちから何か言われ、ときどきいじわるをされて

いた様子、子どもが先生に言っても軽く受け流されていた。

④時期

年中の2学期頃。

⑤原因

1. 担任の指導に問題があった。
2. 友人やクラスに問題があった。

CASE C-7
(幼稚園(5歳), 女子, 2週間)

①行きしぶりの程度

少しあつた。

②状態

拒否というよりは、通園のときに「お母さんと一緒にきて」とぐずりはじめ、何日かして気がつくと、頭に円形脱毛症ができていました。

③きっかけ

友人との関係。

小さい時から、親しくしていた友人3人と毎日、通園していましたが、年長の時クラス替えがあり、娘は1人だけ、ちがうクラスになりました。朝、通園のとき、クラスがちがうということで、仲間はずれにされたのが原因だと思います。

④時期

年長の秋。

⑤原因

性格的にひ弱だった。

■ 小学1年生 III

1年生の事例も、実に様々な状況の下で救助信号を出していることが伝わるものばかりである。C-8は、「厳しい教師」と「鉄棒」にぶつかった。C-9は、「友だちのいじめ」、C-11は、「給食」といった具合である。そして、多くの事例で母親たちは、学級担任の対応に不満を抱いており、教師の援助を得られない子どもが挫折していく様子がよくわかる。(1年生にとっては)「厳しすぎる」「棒にはめようとしている」「高学年タイプの教師で合わない」など、集団生活のしつけに力が

入りすぎている教師を批判する声は、この他にもかなりあった。子も親も、不安な気持ちを受けとめてくれない教師に不信感を抱き、母子ともに学校が気の重い場になっている。C-14の母親は、「一人一人個性がちがう。もっと長い目で見守ってほしい」と動きが遅いわが子への理解を教師に求めている。また、C-16の母親は、「低学年のうちは、のびのび育て、勉強よりもみんなと仲良くできる輪を」と語っている。

事例●小学1年生 (学年、性別、行きしぶりの期間)

CASE C-8 (小学1年生、女子、1年間)

①行きしぶりの程度

少しあった。

②状態

ときどき、朝起きるとき、頭が痛いとか、おなかが痛い等と言い、「休むの」ときくと「行く」と言っていました。

③きっかけ

1. 先生との関係。
2. 学校の行事や授業。

1年生の時はかなり厳しい先生であつたらしく、楽しみに入学した早々、緊張の連続だったようです。また鉄棒ができることを強く叱られ、体育のある日はきまって、朝ぐずり、玄関をでるまでたいへんでした。

④時期

入学して1か月くらいから、1年程だったと思います。

⑤原因

1. 性格的にひ弱だった。
2. 担任の先生の指導に問題があった。
3. 新しい環境に慣れにくいタイプだった。

CASE C-9 (小学1年生～2年生、男子、1年間)

①行きしぶりの程度

少しあった。

②状態

朝、玄関で送りだすとき、くつをはきながら「行きたくないな～」とつぶやく。主人は会社が休み、弟たちは家にいる。1人だけ出でていかなければならないときも「ほくだけ～、行きたくない」と。

③きっかけ

友人との関係。
友だちにいじめられるから。
ふざけるとちょっとしつこくやりすぎるの
で、ふざけから本気になりやられる。
遅刻が気にならない子どもなので、これも

いじめの原因では？と思っている。
体臭がきついので「頭を洗っていかないと
きらわれるよ」と言うと、もう言われてい
ると。
口臭も同じ。
ぐずぐずしているから。

④時期

1年の1学期半ばから「きょういじめられ
た」と言うようになる。
2年の1学期まで。2学期になってからは
聞かない。

⑤原因

1. 性格的にひ弱だった。
2. その他（仲良しの友だちと学校がちが
ってしまったから、近所に友だちが少ない
から）。

CASE C-10
(小学1年生、男子、8か月間)

①行きしぶりの程度

はっきりあった。

②状態

幼稚園の頃は年長の夏休みが終わってから
で、運動会の練習がいやだとか、あれがい
や、これがいや、などとかいいだし、その
ときは泣いてでも無理やり行かせていま
した。それが1か月程つづき、その後はなん
とか幼稚園に行っていましたけど、卒園1
週間前にまた行きたくないと泣きだし、そ
のときもまた無理やり行かせました。
入学してからは元気よく行っていたのです
けど、5月の中旬におたふくかぜで2週間
程休んでしまったら、また朝、ぐずりはじ
め、どうしようもなくなり、学校のほうか
ら教育センターを紹介してもらい、相談し、
お母さんと一緒に行き、生徒が帰ったあと、
先生の顔だけ見に行くところからはじめ、
少しずつ時間をのばし、給食も一緒に食べ、
とにかく一緒に学校についていけば、信じ
られないほど元気でした。

③きっかけ

その他。

原因という原因がわからなくて。
家庭環境に問題があるとすれば、主人の仕
事は朝がおそく、夜帰ってくるのもおそい。
休みも平日で、子どもと顔を合わせる時間
が少ないこと。それに、下に妹がいて、そ
の子がまたものすごく甘えっ子で、私をひ
とりじめしていたいような子なので、下の
子が生まれてからは上の子は甘えるチャン
スがなかったように思います。

そのへんに原因があるのかなと思います。

④時期

1年生の6月から次の年の2月の中旬まで
です。

⑤原因

1. 性格的にひ弱だった。
2. 新しい環境に慣れにくいタイプだった。
3. 家庭環境に問題があった。

CASE C-11
(小学1年生、女子、3か月半)

①行きしぶりの程度

はっきりあった。

②状態

入学直後、学校給食が始まってから、食事
の量が多くて食べられないのに、厳しい先
生から、全部食べないとバカになると注意
され、クラス中皆に聞まれて泣いているの
に許されず、机にすわっている横で、先生
がいつまでも小言を言っていました。それ
が原因で約3か月半、病人のようになり、
本人は心配して、前夜から食事の量を減ら
し、明日は学校に行くからと努力していま
したが、朝になると顔色がなくなり、体が
冷たくなり、学校に行かれず、何か所も病
院で診てもらいました。しかし、どこも悪
くなくて、原因は給食と先生の厳しさだと
わかりました。

③きっかけ

先生との関係。

④時期

入学直後。

⑤原因

担任の指導に問題があった。

CASE C-12

(小学1年生、女子、4か月間)

①行きしぶりの程度

少しあつた。

②状態

たった1人のいじめっ子のために、学校が大好きだった子どもが朝いつも元気にしていったのですが、元気がなくなり、帰ってくると、いじめっ子のことばかり話していました。それまでは楽しかったことをよく話してくれていたのですが…。

③きっかけ

友人との関係。

たった1人のいじめっ子のために（たまたまとなりの席になっただけで）授業中だろうが、休み時間であろうがいじめられ（他の子どもとなりになった子どもも同様だったそうです）、いつも授業中泣きべそをかけていたそうです。

④時期

小学校の1年の2学期中でした。

⑤原因

その他（いじめっ子自身の性格としつけをおこたっている親にあると思います。先生からその子の家庭の事情を聞きましたが、放任主義だそうで、また子どもに手をかけるヒマがないほどいそがしく仕事をしているそうです）。

CASE C-13

(小学1年生、男子、3か月間)

①行きしぶりの程度

少しあつた。

②状態

友だちと慣れるのに時間がかかったこと。
給食がはじまってからは元気に行くように

なった。また、先生が小さなことでもほめてくださり、自信をもったことが大きかったです。

幼稚園の頃で、朝起きると行きたくないと言って泣いていました。入園時です。1か月くらいでした。

③きっかけ

先生との関係。

最初の先生からの一言が心にこたえたようで、先生になじまなかった。何を言われたかは本人は話さなかった。1～2年の先生は高学年向き、という感じを受けた。

④時期

入学時から夏休みに入る頃まで、朝、食欲がなく、おなかが痛いとよく言いましたが、学校を休むことはなかった。1年生～2年生まで友だちができたことと、3年生～4年生になり、担任がかわって細かいことにこだわらないおおらかな先生でしたので、本人も気持ちが楽になったようです。4年になり、部活に入ってからは毎日が楽しくなったようです。

⑤原因

1. 性格的にひ弱だった。
2. 担任の指導に問題があった。
3. 新しい環境に慣れにくいタイプだった。

CASE C-14

(小学1年生、女子、1か月間)

①行きしぶりの程度

少しあつた。

②状態

今年の4月に入学しました。幼稚園からの友だちもたくさんいて楽しく登校していましたが、6月にN市のほうからS町団地に引っ越してきました。去年の8月に当選して、今年の2月には入居できると言われていたのにながびいてしまい、入学式はN市のほうでできました。

やっと慣れたと思ったら、こんどはまた新しい所での学校生活、友だちも先生もみんな

な新しく、とまどったようでした。なんとか夏休みまではがんばってたみたいですが、2学期が始まったとたん、前の学校に帰りたいといいだしたのです。まだいまでも、不安定な気持ちで学校に行ってます。

③きっかけ

先生との関係。

3月生まれなもので、行動が母親の私がみてても、いろいろするくらいおそいのです。でも本人にしてみれば、一生懸命がんばっているのだと思い、見守っています。先生にしてみれば、なぜみんなと同じにできないのだろうと思うでしょう。まだ1年生です。学校生活が始まったばかりです。もっと長い目で、一人一人の個性もちがうのですから見守ってもらいたいと思います。

⑤原因

担任の指導に問題があった。

CASE C-15

(小学1年生、女子、1か月間)

①行きしぶりの程度

少しあつた。

②状態

卒園2か月前頃より眼鏡をかけることになり、先生方のご配慮で、友だちから何も言われないで過ごすことができました。1年に入ったとたん、「めがねざる」とはやされ、泣いて帰りました。その後も、先生の見えない所や上級の男の子からも馬鹿にされ、休むとは言わないけれど、何となく出しふることがあり、明るい子でしたが、内にこもって明るさがなくなっていました。

③きっかけ

友人との関係。

④時期

小1の2学期半ばに受け持つ先生が産休になりました。補助教員の先生にお世話になりました。若く、はりきった先生の姿と眼鏡をかけているということで百万人の味を得た感じで明るくなかったことは事実でした。

3学期に入り、気管支炎を起こし、5日程欠席した折、先生はわざわざお見舞いに来てくださいました。その頃は毎日ていねいな字で、その日の学習、できごとなどお手紙をくださって励ましてくださいました。今もその手紙は大事にしまってあるようです。

2年の受け持つ先生は明るい元気な先生でしたが、3年になって組替えと先生がかわり、傷つきやすくなり、学習に身が入らなくなってきたようです。

⑤原因

1. 性格的にひ弱だった。
2. 担任の指導に問題があった。
3. 友人やクラスに問題があった。
4. その他（保育園の頃までは、人なづこく、自分の意見は遠慮なく言えるほうだったが、だんだんうちにこもってしまったような気がします）。

CASE C-16

(小学1年生、男子、2週間)

①行きしぶりの程度

はっきりあった。

②状態

学校へ行くと体の大きな子にいじめられて、朝になると頭が痛いと言って休みたがりました。

でも1年生の先生にすぐに相談をしましたら、先生がとてもいい人でしたので、すぐに相談にのってくれました。それでうまくいって、今では学校へ喜んで行っています。

③きっかけ

友人との関係。

今の先生は1年生から自分の考え方を子どもに押しつける教育をしているようです。もっと低学年の子どもたちはのびのびと育ててほしいと思います。

今は先生がすぐおこる。

低学年は勉強よりも皆と仲良くできる輪をつくっていってほしい。

④時期

入学して2か月くらいたってから。

⑤原因

友人やクラスに問題があった。

CASE C-17
(小学1年生、男子、1週間)
(幼稚園(4歳)も)

①行きぶりの程度

はっきりあった。

②状態

(1)幼稚園の時、夜泣きが始まった。夜泣きは小さい時からあったが、しばらくおさまっていたのが毎夜続いた。2~3日続いた後、休みたいと言い出した。強く望んだ日は休ませたが1日くらい。

(2)小学校の時、入学式に出たくないと言った。10日くらい前から言い出した。はじめは大きな理由もないのだろうと簡単に考え相手にしなかったのだが、期日が迫ってくると泣いて拒否した。

③きっかけ

1. 友人との関係。
2. 先生との関係。

(1)幼稚園の時一たぶん私の育て方に問題が

あったと思うのですが、入園するまでも、してからも、友だちと仲良く遊べない子でした。情緒の不安があったのだろうと思います。1歳9か月の時妹が生まれ、それから私が彼の精神を安定させてやることができなかったのです。もちろんそれ以前の育て方もあるのでしょうが。そういう訳で、入園してからも友人とトラブル(たたいたり、けったりと...)がたえず担任の先生も手を焼いており、いつも輪の中に入れてくれなかっただようです。たたされたり、反省しないと言われて座らされたり…。

(2)小学校の時一小学校の上級生に春休みにいじめられ、入学式にはまたいじめられると思いこんでいやだと言った。

④時期

持ち上がりの受け持ちだったので、先生と友人とどちらともうまくいかなくなったり。年中、年長共、数回あった。

⑤原因

1. 性格的にひ弱だった。
2. 心の疲れがあった。
3. 体の疲れがあった(アレルギーがあり、風邪をひきやすかった)。
4. 担任の指導に問題があった。

■ 小学2年生 III

2年生は、男子の事例ばかりが並んだ。ある小学校の回答の中には、1人の「いじめっ子」のために子どもが学校に行きたがらなかつたというものが集中していた。どの子も朝はゆううつそうに家を出、放課後は気の合う友だちと元気に遊びまわるという生活が続いている。C-18もその中の1つである。C-20もそうではないかと思われる。

しかし、この「いじめっ子」問題も2学期

半ばにはだいぶ落ち着いたらしく。子どもたちのほうが耐性をつけたのか、教師の指導の成果か、とにかく多くの子どもが乗り越えたようである。低学年の「いじめ」は、こうしたタイプが多い。母親としては、「あの子さえいなければ」と内心思うところだが、こうしたことは、子どもの世界ではよく起こる。これをどう支えるかが教師と親に問われるだろう。

事例●小学2年生 (学年、性別、行きしぶりの期間)

CASE C-18

(小学2年生、男子、1年間)

①行きしぶりの程度

少しあつた。

②状態

朝あまり元気がなく、とてもつらそうだった。でも欠席することは1度もなかった。休むことは悪いことだと思っていたようである。帰りは元気がよく、友だちと夕方まで楽しく遊んでいた。

③きっかけ

友人との関係。

クラスにいじめっ子がいて、毎日けったり、ぶつたり物をぶつけたり、顔や頭にしょっちゅうキズがあり、血が出ていることもたびたびだった。いつもがまんをしていたが、やさしい友だちが数人いたので楽しいこともたくさんあり、欠席することはなかった。

④時期

年長組の頃（5月くらいから半年ほど）。

2年生（5月くらいから1年間）。

⑤原因

1. 担任の指導に問題があった。
2. 友人やクラスに問題があった。

CASE C-19

(小学2年生、男子、3か月間)

①行きしぶりの程度

はっきりあった。

②状態

登校時間になると、急におなかが痛いといって、すわりこんでしまった。

③きっかけ

1. 友人との関係。
2. 先生との関係。

2年の時に転校して、前の学校の先生がや

さしかったのにくらべ、今度の先生は忘れ物にきびしく、まだ慣れないで、忘れ物チェックがクラスの1～2位になった。また、生来おとなしい子なので、チョッカイをだすクラスの子がいて、先生のことと一緒にになっていたらしい。

④時期

2年の6月に転校し、6～7月頃おなかが痛くなり、9月に夏休みの宿題のことまで。

⑤原因

1. 性格的にひ弱だった。
2. 担任の指導に問題があった。
3. 新しい環境に慣れにくいタイプだった。

CASE C-20

(小学2年生、男子、6か月間)

①行きしぶりの程度

少しあつた。

②状態

すぐなぐったりけったりする子がクラスにいたため。

③きっかけ

友人との関係。

相手のお子さんは転校生で、前の学校ではリーダー格であったらしいが、新しい学校ではうまく友だちを自分の自由にできないことで、ひどく家庭でもあれていたと言います。何かにつけて意見に反対して、自分の思い通りにならないと、すぐなぐってきたようです。その子のことで少し学校へ行きたくないと言い出した。

④時期

2年の4月～9月頃まで。

⑤原因

1. 性格的にひ弱だった。
2. 担任の指導に問題があった。
3. 友人やクラスに問題があった。

■ 小学3年生 III

友人関係のトラブルに加え、教師とのトラブルが起こり始める時期である。初めてのクラス替えや担任交替に戸惑う子どもも多い。C-24は、学級担任がかわり、指導法がちがうので混乱した子どもである。とくに、前担任の指導を全く素直に受け入れ、しっかりなじんでしまった子どもたちほど、こうした混乱は大きくなる。またC-21のように、「全く

理解してくれない」教師に出会い、反発を強める子どももいる。母親は子どもにしっかりと同調し、子どもの攻撃性を言葉に置き換えさせている。言葉で表現する力があったので乗り切れたのだろう。C-22の場合もつらい思いを母親に伝えているし、C-23も親に救助信号を出し、教師の援助を得ている。

事例●小学3年生 (学年、性別、行きしぶりの期間)

CASE C-21
(小学3年生、男子、6か月間)

①行きしぶりの程度

はっきりあった。

②状態

先生とのコミュニケーションが全くできなくなってしまったためと思われます。先生が1年間に2人もかわったこと。2人目の先生が子どもの性格を理解してくれず、全く認めなかつたこと。作文などの批評が親が読んでもおどろくようなことを平気で書く方でしたので、私も嫌いでした。子どもを助けるため、毎日2人で先生の悪口を言いつづけあと何日と元気づけました。

③きっかけ

先生との関係。

学校が燃えればいい、とか、転校ってできるの、学校なんかくなればいい、などという言葉が度々出るようになりました。

④時期

3年生の9月～3月まで。

⑤原因

担任の指導に問題があった。

CASE C-22
(小学3年生、男子、2か月間)

①行きしぶりの程度

少しあつた。

②状態

学校から帰ってくると、「お母さん、ボクもう学校へ行きたくない」と言い出した。「先生には絶対言っちゃダメだよ」と口止めしながら話してくれたのですが、上級生の男の子がけったり悪口を言ったりしているとのこと。最初はがまんしていたらしいのですが、とくに悪口は何度も続いてもう学校までいやになってしまった。

③きっかけ

友人との関係。

④時期

2年生の終わり頃から3年生の始め頃まで。

⑤原因

その他(思いあたらない)。

CASE C-23

(小学3年生～6年生、女子、2週間)

①行きぶりの程度

はっきりあった。

②状態

3年の時は、となりの子がいたずらするの
がいやで、ランドセルを背負うと足がふる
え前へ出すことができなくなり、担任の先
生と話し合い、先生が中に入って解決して
くれ元気になりました。6年に入って親し
くしていた3人組が他の子と親しくすると
不機嫌になるらしく、些細なことから無視
されるようになり、名前で呼ばれず○○さ
んと言うようになり、別の子と親しくする
と、その子を呼び出して、うちの子から別
れさせ、ひとりぼっちにさせられたようで、
その時行きたくないと言いました。おなか
が痛いとか、熱が出るとかいろいろありました。
夏休み中に引っ越しすることになり、今
の学校ではとても楽しく、元の明るさが出て
きました。

③きっかけ

友人との関係。

ディズニーランドや後楽園へ行こうと言わ
れたときも、まだ早いからと私がことわり
ました。同じ洋服やパジャマをそろえると
言われ、一度は友人が買ってきただお金
は支払いましたが、私はよくないことだと
言いきかせました。それからだんだん話が
合わなくなつたようです。たまたまうしろ
から突きとばされ、いやがつことから、
他の人たちへふれまわりみんなから無視さ
れたということです。

④時期

6年の7月初めからですが、夏休みに引っ
越し、最近いじめた本人から手紙が届きま
した。いじめが原因で転校したといううわ
さがでているそうで、本人のせいだと思わ
れるのがいやで、あやまつてきました。で
もうちの子はゆるせないと言っております。

⑤原因

友人やクラスに問題があった。

CASE C-24

(小学3年生、女子、3か月間)

①行きぶりの程度

少しあつた。

②状態

連絡帳の書き方が雑になり、何ページもと
ばして書く日と書かない日があつたり、氣
力がなくなつて、よく病気になり、保健室
で休んでいたようです。

③きっかけ

先生との関係。

1、2年の担任が同じで、3年になってか
わり先生の指導のしかたがちがうのでとま
どい、ついていこうとあせつた結果だった
ようです。

(先生にかまつてもらひたかったと思いま
す。)

④時期

3年生になって少し慣れてきてよい頃、
5月頃から7月頃まで。

⑤原因

1. 担任の指導に問題があった。
2. 新しい環境に慣れにくいタイプだった。

■ 小学5～6年生 III

高学年では、仲間関係で孤立し、腹痛、頭痛といった身体症状を示す事例をあげた。C-23 (p. 53参照) は、女子の仲間集団のトラブルの代表的な形で、仲良し3人組の関係がこじれ、陰湿ないじめの対象になったケースである。転校を機に回復しているが心は深く傷ついたままではと気にかかる。またC-26の男子は、苦手な水泳で選手になり、失敗する不安と周囲のまなざしがストレスになり、そのシーズン中不調で終わった。思春期にな

ると、代表やリーダー役割を背負った子どもが、その重圧から逃避的になる例が増える。それは、挫折を知らない子どもたちにとって初めての挫折であることが多い。逆にC-27は、1年生の頃から下積みの生活を強いられ、成績もふるわず、教師との関係もあまり救いにならない様子である。長期にわたって、級友から嫌がらせを受けてきたという対人関係の歪みも心配である。

事例●小学5～6年生 (学年、性別、行きしぶりの期間)

CASE C-25

(小学5年生、男子、3か月間)

①行きしぶりの程度

少しあつた。

②状態

朝ぎりぎりまで寝ていて、グズグズしている。

朝、頭が痛い、熱があるといって、私の様子を見る。

気持ちが悪い、吐き気がすると学校へ行くのをしぶっていっていたので、車に乗せていったところ、入口に近づくにつれ本当に吐きそうにまでなった。

③きっかけ

友人の関係。

少し落ち着きのない子が机の近くにいて、なにかにつけ、しつっこく、からかわれたようなことを本人は言っていた。

あまりしつこいので、体ごとぶつかってかかろうとすると、何人かの友だちがとめに入るので、しかえしもできないことへのい

らだちもあったように思った。

④時期

1学期後半より2学期始めまでくらいでしょうか。

⑤原因

体の疲れがあった。

CASE C-26

(小学5年生、男子、1か月間)

①行きしぶりの程度

少しあつた。

②状態

学校の行事や授業でできることや、わからないことがあると休みたいと言います。

③きっかけ

学校の行事や授業。

夏のプール授業でのことです。水泳があまり得意ではないのにリレーの選手に選ばれてしまい、他の子はスイミングクラブに行き、水泳が得意。そのため、自分の責任でクラスが負けたらどうしようと思い、プー

ルの授業のある日は頭が痛い、おなかが痛いと言つては行きしぶりました。

④時期

小学5年生の夏。

⑤原因

1. 性格的にひ弱だった。
2. 担任の指導に問題があった。

CASE C-27

(小学1年生～6年生、女子、6年間)

①行きしぶりの程度

はっきりあった。

②状態

1人の子からいつもたたかれたり、お金をもってこいとか言われ、それからまわりの人たちもいっしょにやるようになり、学校に行くのをすごくいやがりました。

③きっかけ

1. 先生との関係。

2. 成績。

3. 学校の行事や授業。

4. 何かの失敗。

忘れ物が多くて、先生にいつもおこられて私と先生で忘れ物をなくそうとしたのですが、かえって子どももいじになりました。子どもにきいたところ、先生が子どもに対してえこひいきをすると言って、あの先生はいやだっていって、それから先生とのやりとりはやめました。そのせいで、ほかの子たちにいじめられています。

1年の5月、6月頃から今でもあります。

⑤原因

1. 性格的にひ弱だった。
2. 担任の指導に問題があった。
3. 友人やクラスに問題があった。
4. 新しい環境に慣れにくいタイプだった。

3. 行きしぶりの全体像



ここでは、それぞれのケース・レポートを位置づけるつもりで、もう一度全体のデータ

に戻り、行きしぶりの全体像をたどってみよう。

■ きっかけと期間 III

図2-6に示したように、行きしぶりのきっかけは「友人関係」が筆頭で、第1部(図1-4)で見た母親の子ども時代の回顧的データとほとんど同じである(多少成績の位置が下がっている)。また図2-7に期間を示した。「はっきりあった」「少しあった」の両群ともその期間は長短様々だが、全体としては

1か月以上続いたケースが3割強もある。行きしぶりは始まれば、けっこう長びくものなのだろう。

図2-8は母親が推測する行きしぶりの原因である。これも第1部(図1-5)の内容とほぼ同様である。やはり性格上の問題が上位にきている。

図2-6 行きしぶりのきっかけ

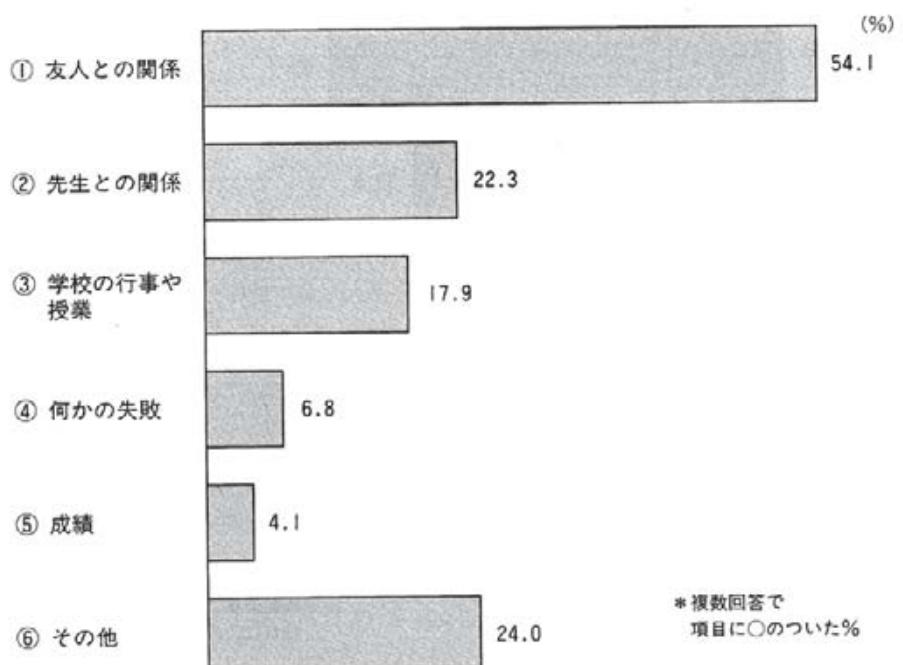


図2-7 子どもの行きしぶりの期間

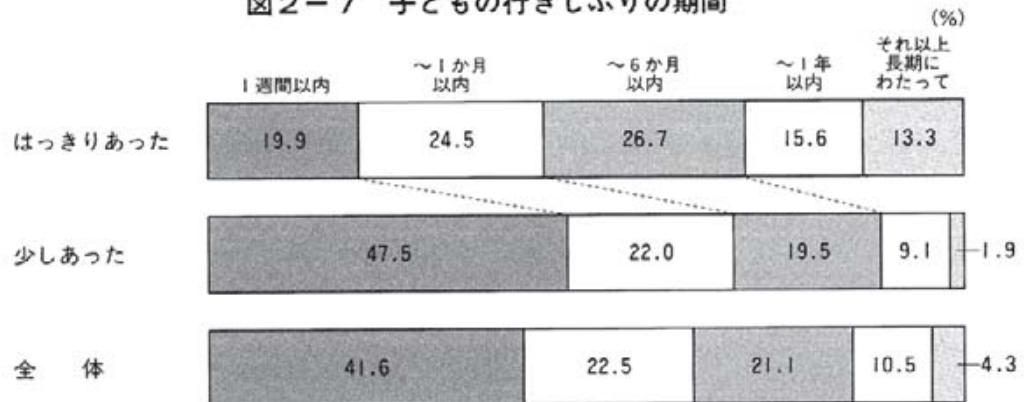
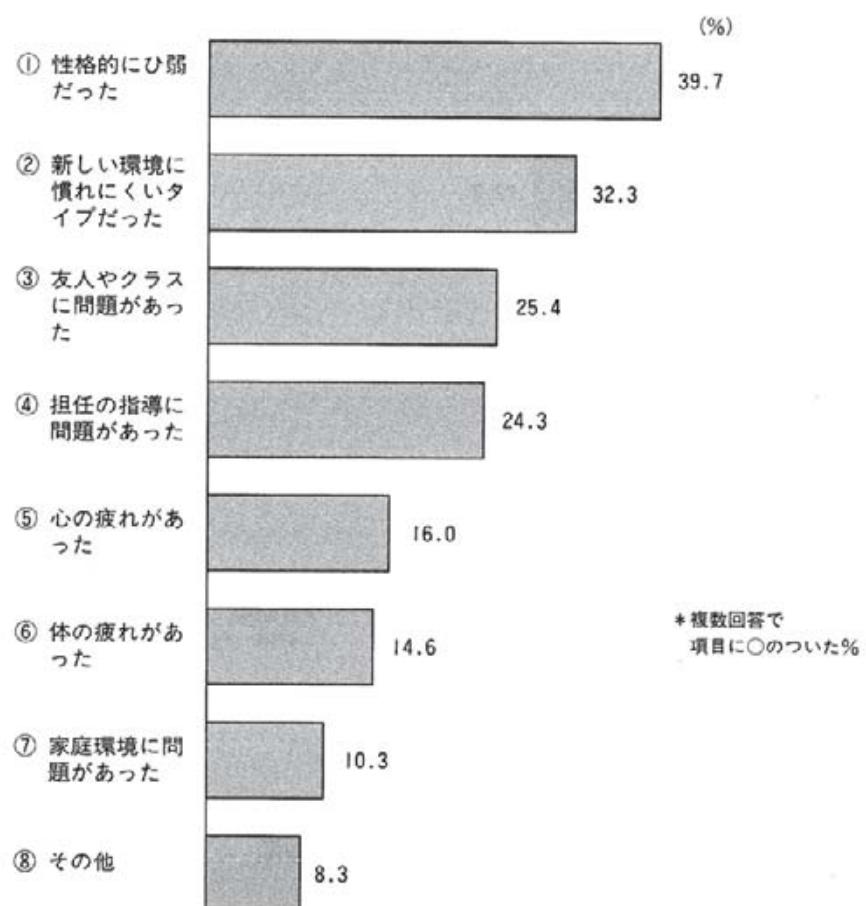


図2-8 行きしぶりの原因



■ 子どものタイプとの関連で III

行きしぶりと子どもの性格にはどんな関連があるのだろうか。図2-9は、行きしぶりの「はっきりあった」群と「全くなかった」群に分けて、性格的特徴をみたものである。図が示すように「神経が細い」「新しい場に慣れにくい」「自分の気持ちをうまく表現できな

い」「集団の中でひっこみじあん」なタイプの子に行きしぶるケースが多いことがわかる。

次は表2-2に示した「原因(と思う)」と期間との関連である。表が示すように、友人や先生との関係で発生したケースは長期化する傾向にあることもわかる。

図2-9 子どものタイプ×行きしぶりの有無

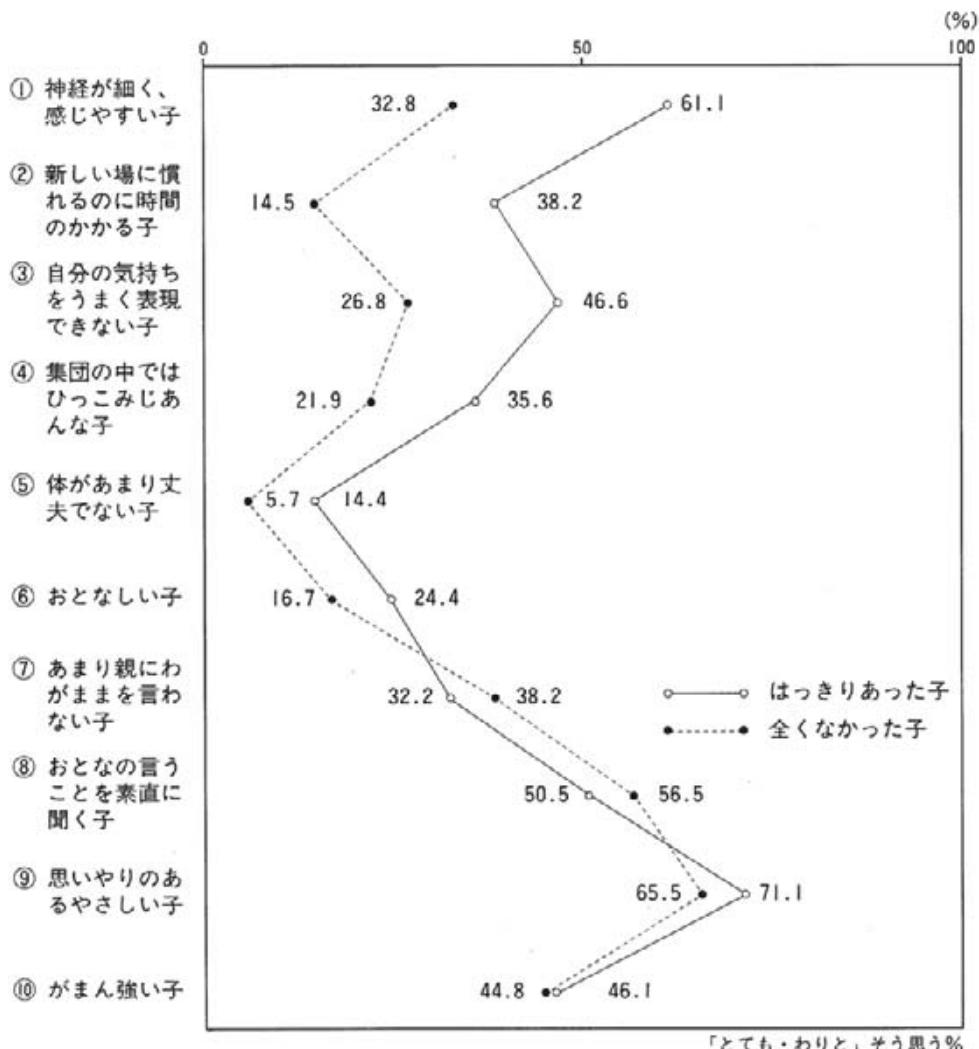


表2-2 行きしぶりの原因×期間

	「原因と思う」%				
	1週間以内	～1か月以内	～6か月以内	～1年以内	それ以上 続いた
① 性格的にひ弱だった	34.2 < 43.2	45.2 < 54.5	> 33.3		
② 新しい環境に慣れにくいタイプだった	25.3	29.5	33.3	31.8 <	44.4
③ 友人やクラスに問題があった	16.5	22.7 < 38.1	> 18.2	(88.9)	
④ 担任の指導に問題があった	19.0	22.7	26.7 <	45.5	(66.7)
⑤ 心の疲れがあった	16.5	20.5	16.7 >	4.5 <	22.2
⑥ 体の疲れがあった	15.2	15.9	9.5 >	0.0 <	11.1
⑦ 家庭環境に問題があった	11.4	9.1	9.5	13.6	11.1

*複数回答も含む

4. 母親を支えるもの



ある日、突然、子どもが「学校に行かない」と言い出したら、われわれはどうするだろう。泣きわめくわが子に、理由を聞いたらし、何とか説得しようとがんばるかもしれない。力づくで押し出すやり方もあるだろう。しかし、

それでもうまくいかないときはどうするか。

こうした状況に直面したときに母親たちを支えたものは、いったい何だったのだろうか。最後に、子どもの学校不適応を実際に援助してきた母親の姿を探ってみよう。

■ 母親が相談した人 III

子どもの行きしぶりに際して母親は、誰に相談し援助を求めたか。図2-10によれば、まずトップが子どもの①「学級担任」で68%。次いで、②「知人や友人」60%、③「親・きょうだい」42%という順である。医師や専門機関を頼った母親は極めて少ない。

また図2-11が示すように、自分の子ども時代には全く行きしぶりを体験しなかった母親たちが、わが子の行きしぶりに出会うケー

スが多く、それだけに戸惑いも大きかっただろう。図2-12は、子どもの行きしぶりの強さと相談相手についてみたものだが、「はっきりあった」群が「少しあった」群より全ての項目について頻度が多いのは当然としても、こうした重大な状況下ですら、なおかつ医師やカウンセラーなどの専門家に相談した例は29%、25%と極めて少ない。担任への相談の割合が8割近いのは当然としても、次には専

門家の援助を受ける、または専門機関のサービスを利用しようとする構えが少ないのでまことに残念である。

図2-10 子どものことで相談したか

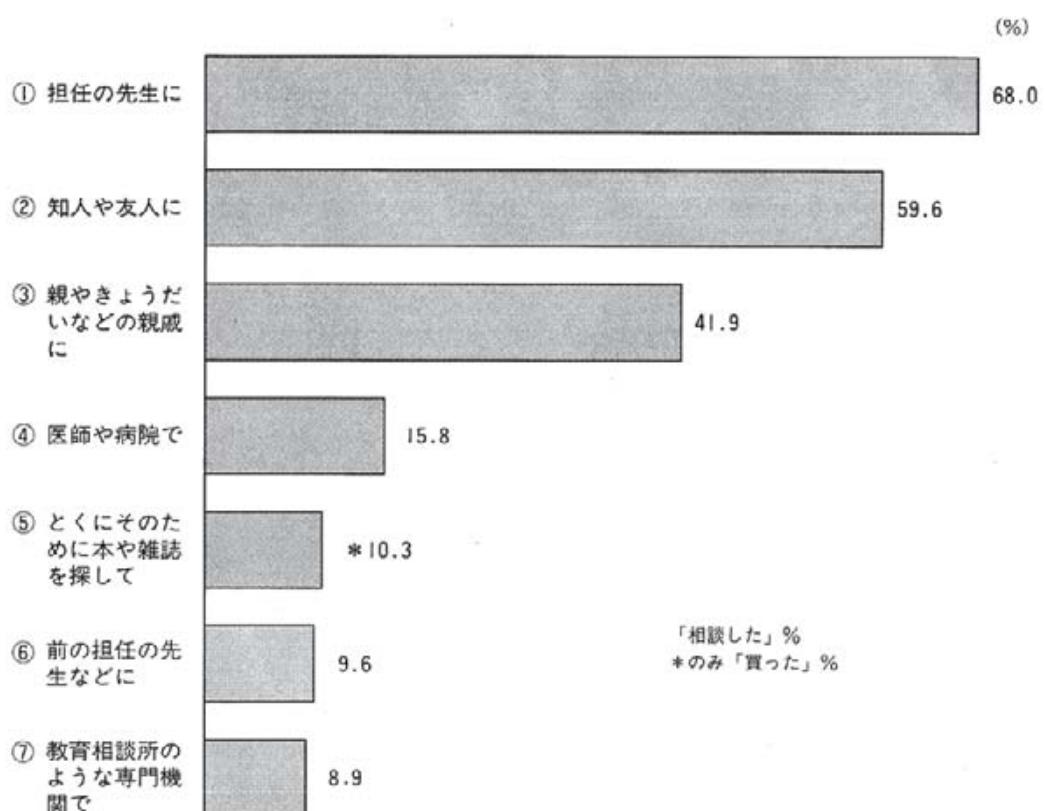


図2-11 母親の行きしぶり経験×子どもの行きしぶり

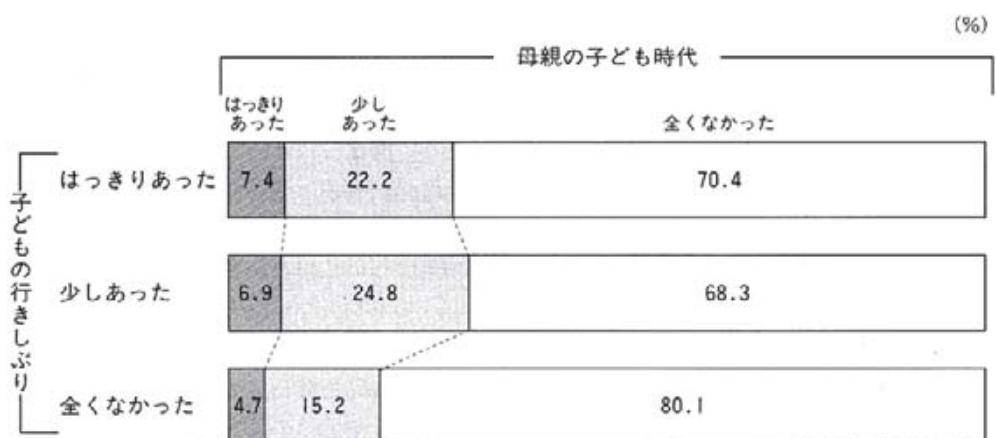
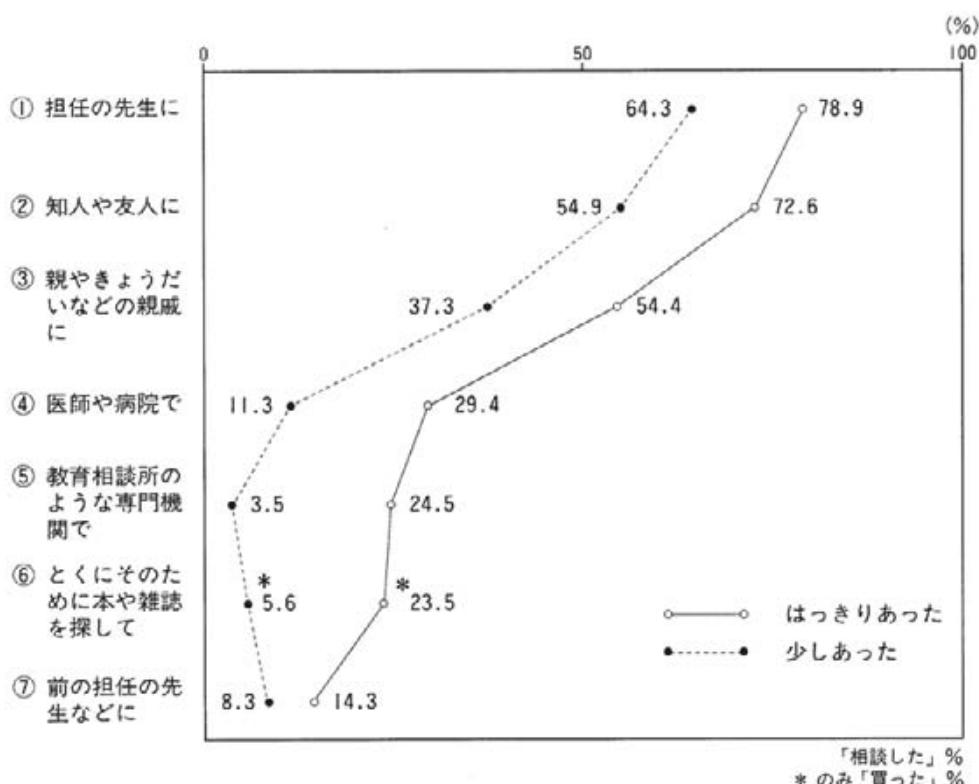


図2-12 行きしぶりの程度×相談した相手

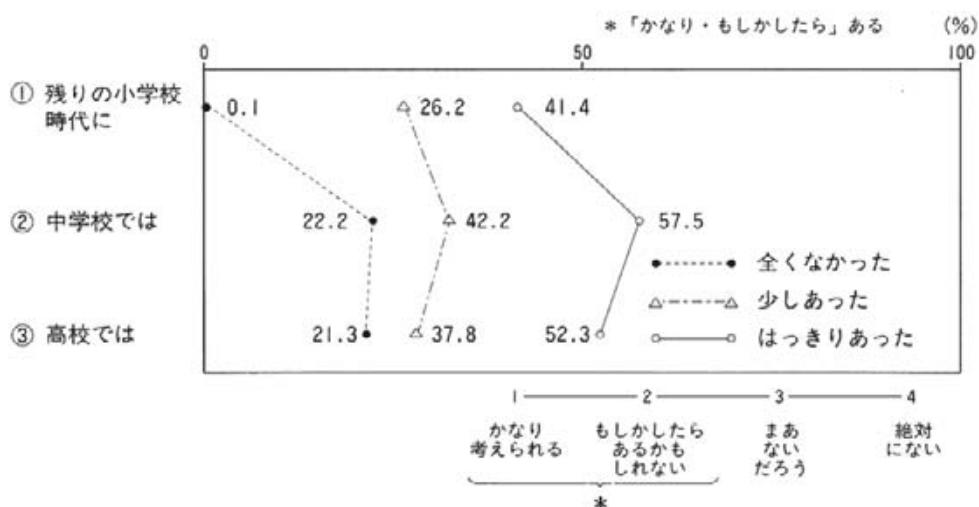


■ 今後、登校拒否を起こす可能性について III

まず母親に「お子さんが今後、小・中・高で登校拒否を起こす可能性はあると思うか」をたずねてみた。図は省略するが卷末の集計表によれば、小学校（残りの期間）では17%、中学校で33%、高校で30%の母親が多少とも可能性を打ち消せないでいる。むろんそれは行きしぶりの経験と関連があり、図2-13に示したように、行きしぶりをはっきり体験し

た群が最も強くその可能性を予測しているが、注目したいことは、今までわが子が全く行きしぶりを起こさなかったグループの母親ですら、中学・高校で2割の者が「ひょっとしたら」と考えている点である。いわば「登校拒否不安」とでもいうべきものが多く、多くの母親の胸の中にどす黒く広がり住みついで、現代の母親たちをおびえさせているように思われる。

図2-13 子どもの行きしぶり×登校拒否になる可能性



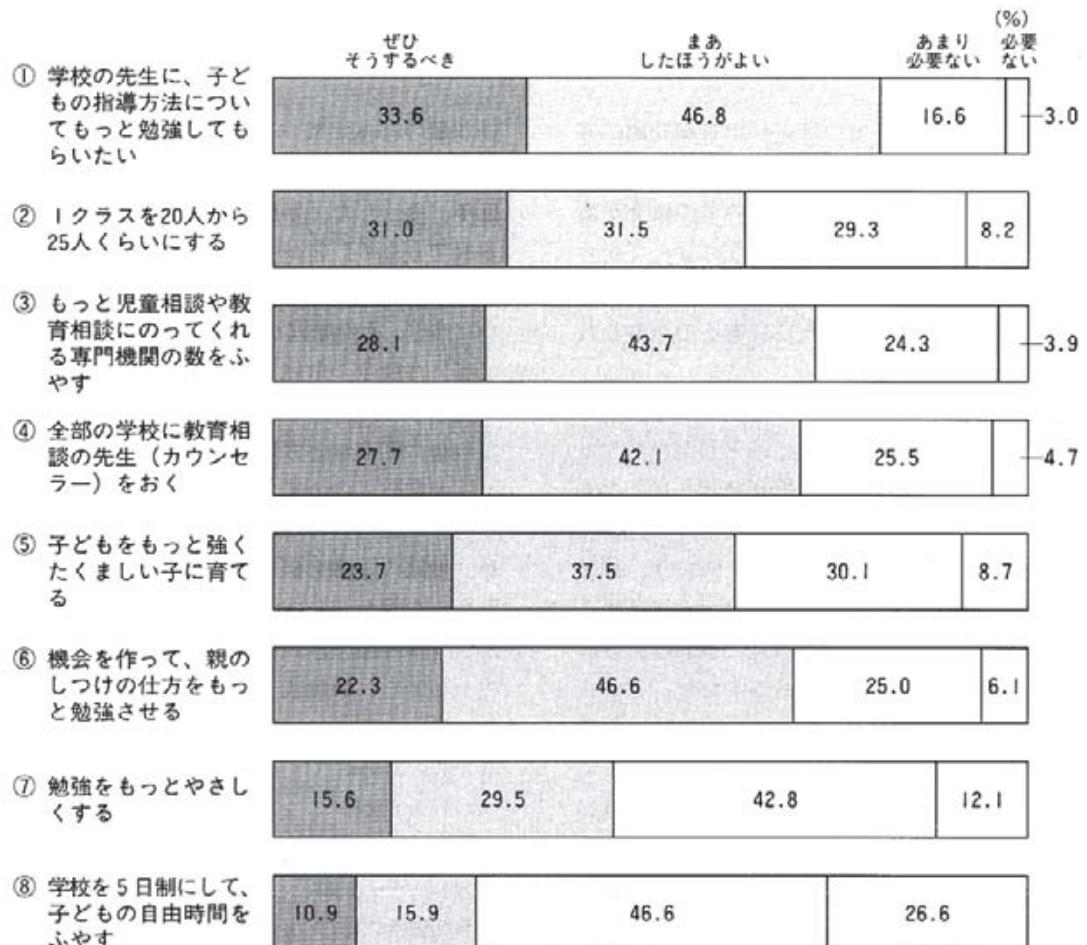
■ 母親たちの考える対応策 III

「登校拒否」そしてまたその前駆症状の可能性もある「行きしぶり」——それが将来わが子の上に起こる可能性を誰しもが打ち消せないでいるとしたら、そうならないための予防策、またそうなったときの対応（治療）策が何より求められるところである。専門家の間での研究の結果からの知見は別として、母親たちは何を求めていたか、図2-14にその内容を掲げた。あまり必要でないと考えられているのは「勉強をやさしく」「学校5日制」の2項目だけで、他は6割かそれ以上がそうした対応策を支持している。なかでも上位に位置している項目をみると、とりわけ母親が

求めているのは「教師に専門的指導力を」であり「専門（相談）機関の充実を」であることがわかる。

正直に言って教育相談の現場にあり、専門家と呼ばれる立場にある者にとっても、登校拒否は今なお対応（治療や指導）に苦慮する難しい問題の1つである。母親たちのこの期待に応えるべく、早急により十分な、そして多角的な調査や臨床的研究がなされ、一日も早く、有効な予防や治療の方法を開発することが、われわれに負わされた社会的責務であろう。

図2-14 登校拒否問題への対応策





■■まとめに代えて

「登校拒否」と名づけられた行動問題の存在が、日本の研究者（臨床家）たちの間で知られるようになり、それについての研究が開始され、論文が発表されるようになってから約30年。この問題への有効な対策が見いだせないのも、この歳月の短さにあるのかもしれない。

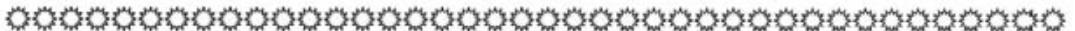
むろん貧しさや、病気などの理由で学校に「行きたくとも行けない」子どもがいたことは、何も教育史や各種の教育統計を探さなくともわれわれの周囲にその体験をもつ人々が、まだかなりの数で残っている。つまり、祖父母や曾祖父母の世代の人々の口から、直接その体験を聞くこともできる。ご承知のように学制が発布されたのは明治5年だが、その後就学率は一向に上がらず、またその低い就学率の数字さえ「名目就学率」（学校に在籍していることにはなっているものの、実際はほとんど通学していない子どもを含めての就学率）であったことを知っている教育関係者も多いかもしれない。また筆者の1人（深谷）は第二次大戦中の疎開体験者であるが、当時宮城県の山村には「山学校」というコトバがあり、おとなも子どももよく使っていた。弁当を持ちランドセル（下げ袋）を持って、朝ふつうに家を出るが学校へは行かず、山で遊んで過ごし、下校時刻に素知らぬ顔で帰宅する子どもたちの存在だった。今になってみれば、こうした「怠学」（なまけ休み）児童の中には、ひょっとすると、今まで「神経症的登校拒否」なども含まれていたのかもしれない。ある。

とすると、研究者たちが登校拒否という行

動問題の存在に気づくのが遅かっただけという見方をする人もいるかもしれない。ただし近年、そうした「学校へ（病気でもなく貧しさ故でもなく）行かない子どもたちの数が増加し、「症状」も重さを増してきているのは確かだろう。その原因が、①学校環境の悪化（例えば生存競争の激化）にあるのか、②子どもの耐性（つらいことに耐える力）の低下にあるのか、③それとも親や教師の対応能力（子どもが学校でつまずきかけたときに、うまくそれから立ち直らせる力量）の低下にあるのか、世間の論議も様々である。こうした問題意識をも持ちながら、本レポートは、とくにふつうは表面に浮かび上がらない、やや軽度のケースを、親世代と子世代についてそれぞれ（親たちから）収集に努めた点に特色があると思われる。

われわれが、こうした検討を経て今思うことの第一は、「登校拒否」は100ケースあれば100のちがった顔をもっていること。しかもかなりの割合で、大事に至らず小さなつまずきで立ち直っているケースも予想外に多い点である。こうした意味では、子どもをとりまくおとなたちが、相互に「非」のなすり合いをせず、「登校拒否」を特殊なケース視せず、早期の素早い対応でカバーできるケースの割合をできるだけ増やすとする努力。そして、それが有効でなかった（失敗した）ケースについての研究と専門的治療機関の設置に向けて、努力を重ねる必要性がある。

とくに後者については、行政による予算計上への努力をすべての親たちの立場に立って要望したいと考える。



お母さま方へ

アンケートのお願い

最近「登校拒否」を起こす子どもがふえてきて、世の中のおとなは胸を痛めています。登校拒否を起こす子が1人もいない世の中にしたいというのは、おとなたち皆の願いです。

しかし考えてみると、「学校へ行きたくない気持ち」は子ども時代、だれでも1度や2度はあったような気がしますし、軽い登校拒否傾向も、けっこう多くの子どもが経験しているような気がします。大事に至らず、それを乗り切った場合もあったのではないですか。

私たちは、子どもの教育相談を仕事にしておりますが、今回、このような子どもの「学校へ行きたくない気持ち」の有無について、アンケート調査を計画し、今後の教育相談や学校運営を考える上で生かしたいと思っております。

お忙しいところ申し訳ございませんが、どうぞご協力くださいますようお願い申し上げます。

用紙にご記入の上、封筒に入れてのりつけし、無記名のまま、お子さんに担任の先生までお持たせください。結果はコンピュータで処理いたしますので、あなたにも学校にもご迷惑をおかけすることはありません。

東京学芸大学教授 深谷和子

千葉県総合教育センター所員 中原美恵

なお、この件に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

TEL (0423)25-2111 内線2900

(火曜日10:30~6:00まで)

東京学芸大学 深谷和子研究室

① このアンケート用紙をお持ち帰りになったお子さんに関してうかがいます。

① お子さんの学年……(1, 2, 3, 4, 5, 6)年 (○をおつけください)

② お子さんの性別……(1. 男 2. 女)

③ お子さんのきょうだい数と位置は → きょうだい数

本人を入れて 人

ひとりっ子	2人以上の きょうだいの 一番上	2人以上の きょうだいの 一番下	その他
→ お子さんは……	1 ————— 2 ————— 3 ————— 4		

● 資料 I 調査票見本

[2] まず、お母さまの子ども時代と現在のご性格について少しうかがわせてください。

① お母さまの子ども時代

	新しい環境や人に なかなか 慣れなかった	少し 慣れるのに 時間がかった	すぐ慣れる タイプ だった	行かな かった
1. 幼稚園（保育園）に入園した とき、新しい環境やクラスに……	1	2	3	(4)

2. 小学校に入学したとき……… 1 ————— 2 ————— 3

3. 中学校に入学したとき……… 1 ————— 2 ————— 3

4. 高校に入学したとき（高校へ
行かれなかった方は 4 に○を）… 1 ————— 2 ————— 3 …… (4)

5. 小学校時代、クラス替えがあ
ると……… 1 ————— 2 ————— 3

6. 小学校時代、担任がかわると……… 1 ————— 2 ————— 3

7. 小学校時代、旅行やキャンプ
に行くと……… 1 ————— 2 ————— 3

	あまり いなかった	数人 いた	かなり いた	非常に 多くいた
8. 小学校時代、親しい友だちは………	1	2	3	4

② お母さまの現在

	なかなか 親しく なれない	親しくなるのに 少し時間が かかる	だれとでも すぐ 親しくなれる
1. 初めて会った人と友だちになるのは………	1	2	3

	心を許す 友人は 作らない	あまり親しい つきあいは していない	多くの人と 親しく つきあっている
2. 近所の人と………	1	2	3

3. P T A のお母さんたちと……… 1 ————— 2 ————— 3

	心を許す つきあいは していない	まあまあ つきあいを している	たいていの人と 親しく つきあっている
4. 親戚（自分のきょうだい、いとこなど）と………	1	2	3

5. 親戚（ご主人のきょうだい、いとこなど）
と……… 1 ————— 2 ————— 3

	誰い	あまり 好きでない	わりと 好き	とても 好き
6. クラス会の幹事とか P T A の役 員などを引き受けるのは………	1	2	3	4

	必要な口を きくだけ	多少は おしゃべりする	すぐ友人のように なってしまう
7. 買い物に行って、近くのお店屋さんの人と 親しくおしゃべりなさるほうですか………	1	2	3

③ 次に、お母さまの幼稚園から高校時代のご経験（学校へ行きたくない気持ちの有無）をお聞かせください。

- ① 子ども時代（幼稚園から高校時代）、なんとなく学校に行きしぶって、ご両親を困らせたこと、またはご両親には気づかれなかったけれど、ご自分の中に学校へ行きたくない、行けないような気持ちがおありましたか。（ア、イについて、それぞれ○をお願いします）

ア) 行きしぶって両親を困らせたことは イ) ご自分の中に行きたくない気持ちがあつた時期

1) 全くなかった

1) 全くなかった → ④へ

2) 少しあつた

2) 少しあつた

3) はっきりあつた

3) はっきりあつた

→ ② それはいつ頃のことでしたか。←

1. 幼稚園 → 1) 歳の頃…… 2) または入園時…… 3) または何回もあつた

2. 小学校 → 1) 年生の頃…… 2) または入学時…… 3) または何回もあつた

3. 中学校 → 1) 年生の頃…… 2) または入学時…… 3) または何回もあつた

4. 高校 → 1) 年生の頃…… 2) または入学時…… 3) または何回もあつた

どんな状態でしたか。できれば、少しくわしくお聞かせください。

[Large empty rectangular box for writing responses.]

③ 学校への行きしぶりが入園や入学時でなく、途中から始まった場合、何かのきっかけがあったのですか。（○はいくつでもけっこうです）

- (1. 友人との関係 2. 先生との関係 3. 成績
4. 学校の行事や授業 5. 部活動 6. 何かの失敗 7. その他)

● 資料1 調査票見本

できれば、少しくわしくお聞かせください。

④ それは、どのくらい続きましたか。

(1. 日 2. 週間 3. か月 4. 年間) くらい続いた

できれば、いつ頃からいつ頃まであったのか、季節、学年など、少しくわしくお聞かせください。

この中には
記入しない
でください。
↓

⑤ 今から思うと、その原因はどこにあったと思われますか。(○はいくつでもけっこ
うです)

1. 性格的にひ弱だった
2. 心の疲れがあった
3. 体の疲れがあった
4. 担任の指導に問題があった
5. 友人やクラスに問題があった
6. 新しい環境に慣れにくいタイプだった
7. 家庭環境に問題があった
8. その他

- ⑥ またあなたが元気になって登校（登園）するようになったのは、なぜだと思われますか。何が効果があったのだと思われますか。

[]

- ④ 今度は（今回、この用紙を持ち帰られた）お子さんについてお聞かせください。

- ① これまでお子さんはなんとなく学校（園）に行きしぶって、心配なさったことが
おありでしたか。

1. 全くなかった → [5]へ

2. 少しあつた

3. はっきりあつた

→ ② それはいつ頃のことでしたか。

1. 幼稚園（保育園） → 1) [] 歳の頃…… 2) または入園時…… 3) または何回も
あつた

2. 小学校 → 1) [] 年生の頃…… 2) または入学時…… 3) または何回も
あつた

どんな状態でしたか。できれば、少しくわしくお聞かせください。

[]

● 資料 I 調査票見本

③ 入園や入学時でなく、途中から行きしぶりが始まった方は、何かきっかけがおありでしたか。推測でけっこうです。(あてはまる番号にいくつでも○をおつけください)

- (1. 友人との関係 2. 先生との関係 3. 成績
 4. 学校の行事や授業 5. 何かの失敗 6. その他)

できれば、少しくわしくお聞かせください。

[]

④ それは、どのくらい続きましたか。

[]

(1. 日 2. 週間 3. か月 4. 年間) くらい続いた

できれば、いつ頃からいつ頃まであったのか、季節、学年など、少しくわしくお聞かせください。

[]

この中には
記入しない
でください。
↓

[]
[]
[]

⑤ 今から思うと、その原因はどこにあったと思われますか。(○はいくつでもけっこうです)

1. 性格的にひ弱だった
2. 心の疲れがあった
3. 体の疲れがあった
4. 担任の指導に問題があった
5. 友人やクラスに問題があった
6. 新しい環境に慣れにくいタイプだった
7. 家庭環境に問題があった
8. その他 []

⑥ お子さんの行きしぶりを直すために、ご両親がなさったことは、どんなことでしたか。

1. 担任の先生に……………(1. 相談した 2. しなかった)
2. 知人や友人に……………(1. 相談した 2. しなかった)
3. 親やきょうだいなどの親戚に……………(1. 相談した 2. しなかった)
4. 医師や病院で……………(1. 相談した 2. しなかった)
5. 教育相談所のような専門機関で……………(1. 相談した 2. しなかった)
6. 前の担任の先生などに……………(1. 相談した 2. しなかった)
7. とくにそのために本や雑誌を探して……(1. 買った 2. 買わなかった)
8. その他



⑤ お子さんのふだんのご様子で、現在、次のようなことはありますか。

- | | とても
(しょっちゅう)
そう | わりと
そう | ごくたまに
そう | 全く、または
ほとんど
ない |
|------------------------------|-----------------------|-----------|-------------|----------------------|
| ① 朝、なかなか起きられない…… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ② うるさく言わないと、いつも遅刻しそうである…… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ③ 気をつけていないと、よく忘れ物をする…… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ④ 体の具合が悪くなって、よく保健室へ行く…… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑤ ときどき、「学校に行きたくな
い」ともらす…… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑥ よく頭痛や腹痛を訴える…… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑦ おしっこが近い…… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑧ 勉強になかなか集中できない…… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑨ 1度休むと、学校に行きづらい
様子である…… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑩ 夜、うなされたり、こわい夢を
見る…… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑪ ときどき、仮病を使って学校を
休みたがる…… | 1 | 2 | 3 | 4 |

● 資料Ⅰ 調査票見本

とても (しょっちはう) ⑫ 食欲がない.....	わりと そう 1 ————— 2	ごくたまに そう 3 ————— 4	全く、または ほとんど ない
---------------------------------	------------------------	--------------------------	----------------------

⑬ 友だち関係のことで悩んでいる
ようである..... 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4

⑭ よく先生への不満を言う..... 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4

⑮ お子さんは、現在どんなタイプの子どもに育っていらっしゃるとお思いですか。

とても そう思う ① おとなの言うことを素直に聞く 子.....	わりと そう思う 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4 ————— 5	少し そう思う あまり そう思わない せんぜん ちがう
---	--	--

② 新しい場に慣れるのに時間のかかる子..... 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4 ————— 5

③ がまん強い子..... 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4 ————— 5

④ 神経が細く、感じやすい子..... 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4 ————— 5

⑤ 体があまり丈夫でない子..... 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4 ————— 5

⑥ 思いやりのあるやさしい子..... 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4 ————— 5

⑦ 自分の気持ちをうまく表現できない子..... 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4 ————— 5

⑧ 集団の中ではひっこみじあんな子..... 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4 ————— 5

⑨ あまり親にわがままを言わない子..... 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4 ————— 5

⑩ おとなしい子..... 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4 ————— 5

⑪ これまでお子さんは、新しい環境に慣れやすいほうでしたか。

環境に なかなか 慣れなかった	少し慣れるのに 時間が かかった	すぐ 慣れるタイプ だった
-----------------------	------------------------	---------------------

⑪ 幼稚園（保育園）に入園したとき、
新しい環境やクラスに..... 1 ————— 2 ————— 3

⑫ 小学校に入学したとき..... 1 ————— 2 ————— 3

⑬ クラス替えがあると..... 1 ————— 2 ————— 3

⑭ 担任がかわると..... 1 ————— 2 ————— 3

⑮ 旅行やキャンプに行くと..... 1 ————— 2 ————— 3

⑧ あなたのお子さんが将来、何かのきっかけで登校拒否を起こすことももしかしたら考えられますか。

- | | かなり
考えられる | もしかしたら
あるかも
しない | まあ
ないだろう | 絶対にない
(登校拒否を起こす
タイプではない) |
|------------------|--------------|-----------------------|-------------|--------------------------------|
| ① 残りの小学校時代に..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ② 中学校では..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ③ 高校では..... | 1 | 2 | 3 | 4 |

⑨ では一般論として、登校拒否の子どもをこれ以上ふやさない(なくす方向にしていく)ためには、社会としてどんな方法が必要だと思われますか。

- | | ぜひそう
するべき | まあ
したほうが
よい | あまり
必要ない | 必要ない
(関係ない) |
|--|--------------|-------------------|-------------|----------------|
| ① 機会を作って、親にしつけのし
かたをもっと勉強させる..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ② 学校の先生に、子どもの指導方
法についてもっと勉強してもら
う..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ③ 子どもをもっと強くたくましい
(競争に勝てるような)子に育
てる..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ④ 勉強をもっとやさしくする(日
本全体の学校で教える内容を今
より1~2年程度を下げる)..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑤ 1クラスを20人から25人くらい
にする..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑥ 学校を5日制にして、子どもの
自由時間をふやす..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑦ 全部の学校に教育相談の先生
(カウンセラー)をおく..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑧ もっと児童相談や教育相談にの
ってくれる専門機関(クリニッ
ク)の数をふやす..... | 1 | 2 | 3 | 4 |

⑩ 最後に、お母さまご自身のことをうかがいます。

- ① 失礼ですが、現在あなたはおいくつですか。

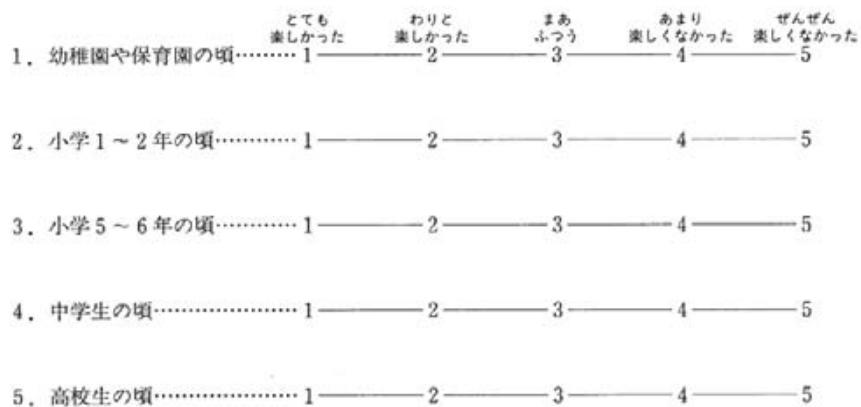
25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45~49歳	50歳以上
1	2	3	4	5	6

● 資料Ⅰ 調査票見本

(2) あなたは、お仕事をおもちですか。

1. もっていない（専業主婦）
2. パートタイムで働いている
3. 今は働いていないが、近いうちに働くつもりである
4. フルタイムで働いている

(3) お母さまの子ども時代は、毎日、学校に行くのが楽しかったですか。



～これで終わりです。ご協力まことにありがとうございました。～

● 資料 2 基礎集計表

本編：サンプル問題集

● 資料 2 基礎集計表

● 資料2 基礎集計表

質問項目	全 体	性 別						年 別
		男 子	女 子	1 年	2 年	3 年	4 年	
母親の子ども時代の性格	1. 新しい環境や人になかなか慣れなかった	3.4	4.2	2.6	2.7	2.0	4.5	2.6
	2. 少し慣れるのに時間がかかった	51.9	50.0	53.6	47.9	56.4	52.8	48.4
	3. すぐ慣れるタイプだった	44.7	45.8	43.8	49.4	41.6	42.7	49.0
	1. 新しい環境や人になかなか慣れなかった	3.7	3.3	4.1	2.7	2.9	4.5	3.1
	2. 少し慣れるのに時間がかかった	55.9	55.5	56.3	54.1	56.1	58.6	51.5
	3. すぐ慣れるタイプだった	40.4	41.2	39.6	43.2	41.0	36.9	45.4
	1. 新しい環境や人になかなか慣れなかった	3.8	4.7	2.9	7.9	1.9	4.6	3.6
	2. 少し慣れるのに時間がかかった	41.9	42.3	41.6	36.8	47.1	45.0	39.1
	3. すぐ慣れるタイプだった	54.3	53.0	55.5	55.3	51.0	50.4	57.3
父兄や姉妹時代の性格	1. あまりいなかった	4.0	4.1	3.8	5.1	3.8	3.5	4.1
	2. 教入いた	59.7	61.3	58.4	48.8	72.6	65.5	55.9
	3. かなりいた	31.8	29.7	33.8	42.3	19.8	25.7	35.9
	4. 非常に多くいた	4.5	4.9	4.0	3.8	3.8	5.3	4.1
	1. なかなか親しくない	5.3	5.5	5.2	6.3	8.5	8.0	3.0
	2. 親しくなるのに少し時間がかかる	62.9	61.2	64.5	63.3	57.5	64.6	64.0
	3. だれとでもすぐ親しくなる	31.8	33.3	30.3	30.4	34.0	27.4	33.0
	1. 心を許す友人は作らない	1.1	1.4	0.8	1.3	0.0	3.5	1.0
	2. あまり親しつきあいはしていない	59.7	56.5	62.7	64.9	65.1	57.6	56.1
母の現状	3. 多くの人と親しくつきあっている	39.2	42.1	36.5	33.8	34.9	38.9	42.9
	1. 心を許す友人は作らない	3.5	2.9	4.1	3.8	5.8	3.6	3.6
	2. あまり親しつきあいはしていない	73.1	73.8	72.5	80.8	70.9	76.8	67.8
	3. 多くの人と親しくつきあっている	23.4	23.3	23.4	15.4	23.3	19.6	28.6
	1. 心を許す友人はしていない	2.4	2.0	2.7	1.3	3.8	2.7	3.0
	2. まあまあのつきあいをしている	55.7	58.8	52.9	64.1	59.7	56.6	52.1
	3. たいていの人と親しくつきあっている	41.9	39.2	44.4	34.6	36.5	40.7	44.9
	1. 心を許すつきあいはしていない	10.0	10.1	9.8	11.8	13.7	10.7	8.8
	2. まあまあのつきあいをしている	68.4	67.3	69.6	68.5	66.7	68.8	68.4
性格	3. たいていの人と親しくつきあっている	21.6	22.6	20.6	19.7	19.6	20.5	22.8
	1. 嫌い	17.7	17.2	18.3	14.1	20.8	20.4	16.8
	2. あまり好きでない	66.3	66.3	66.3	74.4	64.1	63.7	63.8
	3. わりと好き	15.9	16.4	15.4	11.5	15.1	15.9	18.9
	4. とても好き	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0
	1. 必要な口をきくだけ	19.5	21.7	17.4	19.0	18.1	21.2	17.4
	2. 多少はおしゃべりする	71.4	69.2	73.5	72.1	73.3	70.8	72.3
	3. すぐ友人のようになってしまう	9.1	9.1	9.1	8.9	8.9	8.6	10.3
								9.2

[2]

質問項目	全 体	性 別						年 別			
		男 子	女 子	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年		
母 親 の 子 ど も 時 代 の 登 校 頃 の 学 年 と か	1. 全くなかつた	75.1	77.2	73.1	78.3	65.4	70.5	76.0	76.0	78.5	
	2. 少しあつた	19.2	17.1	21.3	17.6	25.7	14.3	20.6	20.1	17.5	
	3. はつきりあつた	5.7	5.7	5.6	4.1	8.9	15.2	3.4	3.9	4.0	
	1. 全くなかつた	46.7	46.9	46.6	40.8	38.2	37.6	48.4	46.6	54.3	
	2. 少しあつた	43.9	44.5	43.3	50.7	46.1	46.3	45.3	45.2	38.0	
	3. はつきりあつた	9.4	8.6	10.1	8.5	15.7	16.1	6.3	8.2	7.7	
	1. 2歳の頃	1.3	0.0	2.6	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	
	2. 3歳の頃	2.7	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	5.9	
	3. 4歳の頃	18.7	19.4	17.9	28.6	14.3	18.2	14.3	26.3	11.8	
	4. 5歳の頃	54.6	50.0	59.0	57.1	57.1	72.7	42.9	47.4	58.8	
そ れ は い つ の 登 校 頃 の 学 年 と か	5. 6歳の頃	22.7	25.0	20.5	14.3	28.6	0.0	35.7	26.3	23.5	
	1. 入園の頃	70.0	65.2	73.5	66.7	77.8	55.0	72.7	70.0	73.3	
	2. 何回もあつた	30.0	34.8	26.5	33.3	22.2	45.0	27.3	30.0	26.7	
	1. 1年生の頃	25.0	29.9	20.6	17.6	30.0	38.0	18.8	26.1	20.0	
	2. 2年生の頃	6.0	4.6	7.2	5.9	5.0	6.9	3.1	4.3	10.0	
	3. 3年生の頃	12.5	10.3	14.4	17.6	25.0	6.9	12.5	19.6	0.0	
	4. 4年生の頃	18.5	20.7	16.5	17.6	0.0	17.2	21.9	23.9	20.0	
	5. 5年生の頃	27.1	20.7	33.1	17.6	30.0	17.2	37.4	23.9	32.5	
	6. 6年生の頃	10.9	13.8	8.2	23.7	10.0	13.8	6.3	2.2	17.5	
	1. 入学の頃	36.8	32.9	39.8	42.9	14.3	38.1	43.4	40.0	33.3	
校中 の 登 校 拒 否 体 験 か で 高 校	2. 何回もあつた	63.2	67.1	60.2	57.1	85.7	61.9	56.6	60.0	66.7	
	1. 1年生の頃	19.6	23.0	15.6	18.2	13.6	42.1	11.5	19.4	17.2	
	2. 2年生の頃	43.4	44.6	42.2	45.4	54.6	31.6	42.3	51.6	34.5	
	3. 3年生の頃	37.0	32.4	42.2	36.4	31.8	26.3	46.2	29.0	48.3	
	1. 入学の頃	17.9	21.4	16.0	28.6	0.0	12.5	33.3	14.3	20.0	
	2. 何回もあつた	82.1	78.6	84.0	71.4	100.0	87.5	66.7	85.7	80.0	
	1. 1年生の頃	39.0	38.9	39.2	27.3	35.3	50.0	47.3	32.0	43.5	
	2. 2年生の頃	30.5	29.6	31.4	27.3	35.3	30.0	21.1	36.0	30.4	
	3. 3年生の頃	30.5	31.5	29.4	45.4	29.4	20.0	31.6	32.0	26.1	
	1. 入学の頃	27.8	32.1	23.1	25.0	30.0	25.0	28.6	42.9	22.2	
	2. 何回もあつた	72.2	67.9	76.9	75.0	70.0	75.0	71.4	57.1	77.8	

● 資料 2 基礎集計表

質問項目	全 体		性 別		年 齢		学 年		年 齢		別 年	
	男 子	女 子	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	7 年	8 年	9 年	10 年
母親の子ども時代の登校拒否体験	1. 友人との関係	47.5	50.0	45.2	41.7	53.2	56.5	42.4	46.1	47.0		
	2. 先生との関係	23.2	18.7	27.1	22.2	23.4	19.6	18.2	27.6		25.3	
	3. 成績	22.6	19.9	25.0	25.0	23.4	19.6	16.7	27.6		22.9	
	4. 学校の行事や授業	19.2	16.3	21.8	19.4	23.4	19.6	18.2	14.5		21.7	
	5. 部活動	4.0	1.2	2.6	0.0	6.4	10.9	4.5	2.6		1.2	
	6. 何かの失敗	8.5	12.7	4.8	16.7	10.6	4.3	1.5	14.5		6.0	
	7. その他	20.3	20.5	20.2	16.7	10.6	15.2	28.8	21.1		22.9	
	1. 1週間以内	(97人)	28.0	26.5	29.5	29.7	18.4	29.2	30.4		34.7	
	2. ～1か月以内	(30人)	8.7	10.0	7.4	3.7	13.2	6.3	13.1		5.1	
	3. ～6か月以内	(57人)	16.5	15.3	17.6	14.8	21.1	12.5	8.7		20.5	
原因	4. ～1年以内	(33人)	9.5	10.0	9.1	14.8	10.5	10.4	13.1		5.1	
	5. それ以上長期にわたって	(33人)	9.5	6.5	12.5	7.4	10.5	10.4	7.2		11.5	
	6. 不明	(96人)	27.8	31.7	23.9	29.6	26.3	31.2	27.5		23.1	
	1. 性格的にひ弱だった	44.1	45.7	42.6	44.1	42.6	49.1	37.3	52.7		38.8	
	2. 心の疲れがあった	11.8	11.3	12.3	8.8	14.9	7.5	13.4	11.0		13.3	
	3. 体の疲れがあった	7.9	5.9	9.8	5.9	8.5	7.5	7.5	9.9		7.1	
	4. 担任の指導に問題があつた	22.3	19.4	25.0	32.4	25.5	18.9	19.4	23.1		20.4	
	5. 友人やクラスに問題があつた	22.3	25.8	19.1	17.6	19.1	32.1	16.4	23.1		23.5	
	6. 新しい環境に慣れにくいため	21.5	16.7	26.0	14.7	21.3	26.4	23.9	15.4		25.5	
	7. 家庭環境に問題があつた	15.4	17.2	13.7	14.7	21.3	28.3	13.4	9.9		12.2	
それはいつ頃でありますか	8. その他	12.1	11.8	12.3	17.6	10.6	7.5	11.9	13.2		12.2	
	1. 全くなかった	55.9	58.4	53.5	45.3	50.0	61.3	55.4	52.7		62.0	
	2. 少しあつた	35.0	33.4	36.6	38.7	41.3	32.4	39.0	37.4		27.7	
	3. はつきりあつた	9.1	8.2	9.9	16.0	8.7	6.3	5.6	9.9		10.3	
	4. 幼児期の年齢	1.6	2.1	1.1	4.0	0.0	0.0	2.7	0.0		2.6	
	5. 2歳の頃	1.6	2.1	1.1	0.0	0.0	0.0	5.4	0.0		2.6	
	6. 3歳の頃	14.6	15.5	13.7	12.0	13.0	19.0	13.5	14.6		15.8	
	7. 4歳の頃	32.8	31.9	33.7	28.0	26.1	28.6	29.7	37.5		39.6	
	8. 5歳の頃	33.8	29.9	37.8	32.0	39.2	42.9	32.5	35.4		26.3	
	9. 6歳以上	15.6	18.5	12.6	24.0	21.7	9.5	16.2	12.5		13.1	
○複数回答した項目に該当する場合は複数選択可	1. 入園の頃	72.5	72.1	72.9	46.7	61.1	92.3	72.0	81.5		77.3	
	2. 何回もあつた	27.5	27.9	27.1	53.3	38.9	7.7	28.0	18.5		22.7	

質問項目	全 体	性 別						年 別					
		男 子	女 子	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	1 年	2 年	3 年	4 年
1. 1年生の頃	37.1	36.1	38.0	100.0	64.0	40.0	32.1	25.0	31.7				
2. 2年生の頃	18.5	25.9	12.1	0.0	36.0	32.0	18.9	13.2	15.2				
3. 3年生の頃	19.0	19.0	18.9	0.0	0.0	28.0	35.8	13.2	18.2				
4. 4年生の頃	16.5	14.7	18.2	0.0	0.0	0.0	13.2	32.4	18.2				
5. 5年生の頃	7.3	4.3	9.8	0.0	0.0	0.0	0.0	16.2	10.6				
6. 6年生の頃	1.6	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.1				
1. 入学の頃	50.0	41.2	55.6	83.3	83.3	40.0	37.5	30.0	44.4				
2. 何回もあった	50.0	58.8	44.4	16.7	16.7	60.0	62.5	70.0	55.6				
1. 友人との関係	54.1	48.2	59.2	65.5	43.3	48.3	61.7	54.4	49.3				
2. 先生との関係	22.3	23.7	21.0	10.3	6.7	20.7	16.7	22.8	39.1				
3. 成績	4.1	3.6	4.5	0.0	6.7	0.0	3.3	5.1	5.8				
4. 学校の行事や授業	17.9	19.4	16.6	17.2	30.0	20.7	16.7	16.5	14.5				
5. 何かの失敗	6.8	7.9	5.7	13.8	3.3	6.9	6.7	5.1	7.2				
6. その他	24.0	28.8	19.7	37.9	33.3	31.0	21.7	20.3	17.4				
1. 1週間以内	30.3	32.7	28.1	38.5	34.6	35.6	34.9	27.6	21.7				
2. ～1ヶ月以内	16.3	14.1	18.1	23.1	24.1	17.9	11.7	18.4	11.6				
3. ～6ヶ月以内	15.3	12.5	17.5	15.4	3.4	14.3	18.3	13.2	20.3				
4. ～1年内	7.6	10.2	5.6	3.8	13.8	0.0	6.7	7.9	10.1				
5. それ以上長期にわたって	3.1	1.6	4.4	3.8	0.0	3.6	1.7	3.9	4.3				
6. 不明	27.4	28.9	26.3	15.4	24.1	28.6	26.7	29.0	32.0				
1. 性格的に心弱だった	39.7	47.2	33.2	38.9	41.7	37.5	39.1	36.8	43.7				
2. 心の疲れがあった	16.0	14.7	17.1	16.7	22.2	21.9	15.6	14.7	12.6				
3. 体の疲れがあった	14.6	12.9	16.0	19.4	16.7	12.5	17.2	14.7	10.3				
4. 担任の指導に問題があった	24.3	25.2	23.5	19.4	19.4	31.3	20.3	24.2	28.7				
5. 友人やクラスに問題があった	25.4	16.6	33.2	27.8	22.2	25.0	26.6	28.4	21.8				
6. 新しい環境に慣れにくいタイプだった	32.3	35.0	29.9	36.1	33.3	37.5	37.5	25.3	32.2				
7. 家庭環境に問題があった	10.3	12.3	8.6	11.1	16.7	21.9	7.8	8.4	8.4				
8. その他	8.3	9.2	7.5	19.4	16.7	3.1	3.1	11.6	2.3				
1. 相談した	68.0	65.9	69.7	71.0	70.6	62.1	75.0	63.3	67.6				
2. しなかった	32.0	34.1	30.3	29.0	29.4	37.9	25.0	36.7	32.4				
1. 相談した	59.6	65.0	55.6	75.0	47.8	60.0	50.8	68.5					
2. しなかった	40.4	35.0	44.4	25.0	52.2	40.0	49.2	31.5					
先生に相談した	41.9	48.9	37.0	56.5	44.4	43.5	44.4	32.8	41.7				
友人に相談した	58.1	51.1	63.0	43.5	55.6	56.5	55.6	67.2	58.3				
親に相談した	15.8	16.3	15.5	13.0	8.7	9.1	26.5	12.5	20.5				
医師に相談した	84.2	83.7	84.5	87.0	91.3	90.9	73.5	87.5	79.5				

● 資料 2 基礎集計表

質問項目		全 体		性 別		学 年		年 别	
		男 子	女 子	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
④ 行きしごとくが学校へ 歩くこと	1. 相談した	8.9	11.6	6.6	0.0	16.0	4.5	12.9	7.5
	2. しなかった	91.1	88.4	93.4	100.0	84.0	95.5	87.1	92.5
	1. 相談した	9.6	3.8	14.0	13.0	4.5	13.6	19.4	5.9
	2. しなかった	90.4	96.2	86.0	87.0	95.5	86.4	80.6	94.1
	1. 買った	10.3	14.0	7.3	14.3	7.7	5.0	6.9	13.8
	2. 買わなかつた	89.7	86.0	92.7	85.7	92.3	95.0	93.1	86.2
	1. どちら((しようちゅう) そう)	8.9	8.7	9.0	11.5	11.8	8.0	8.8	8.3
	2. わりとそう	25.6	25.2	25.9	29.5	26.5	21.2	19.7	32.9
	3. こくたまにそう	28.9	27.7	30.0	37.2	31.3	27.4	33.7	23.8
	4. 全く、またはほとんどない	36.6	38.4	35.1	21.8	30.4	43.4	37.8	35.0
⑤ いふべきこと	1. どちら((しようちゅう) そう)	6.7	8.4	5.1	13.2	10.9	6.2	4.2	6.7
	2. わりとそう	16.1	15.9	16.3	25.0	19.8	21.2	13.0	18.4
	3. こくたまにそう	26.0	26.5	25.5	28.9	34.6	28.3	27.1	24.7
	4. 全く、またはほとんどない	51.2	49.2	53.1	32.9	34.7	44.3	55.7	50.2
	1. どちら((しようちゅう) そう)	7.6	10.5	4.7	11.5	8.9	7.1	7.8	5.8
	2. わりとそう	20.1	25.8	14.6	16.7	18.8	24.8	19.3	21.1
	3. こくたまにそう	44.5	41.8	47.2	51.3	51.5	46.0	47.4	42.1
	4. 全く、またはほとんどない	27.8	21.9	33.5	20.5	20.8	22.1	25.5	31.0
	1. どちら((しようちゅう) そう)	0.1	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2. わりとそう	1.1	1.0	1.2	0.0	0.0	0.0	0.5	2.1
⑥ 在の現状	3. こくたまにそう	19.1	16.7	21.4	6.7	12.1	15.0	18.8	23.7
	4. 全く、またはほとんどない	79.7	82.3	77.2	93.3	87.9	85.0	80.7	73.8
	1. どちら((しようちゅう) そう)	0.4	0.2	0.6	1.3	0.0	0.9	0.5	0.4
	2. わりとそう	1.2	1.5	1.0	1.3	2.0	0.0	0.5	1.7
	3. こくたまにそう	20.9	21.0	20.8	23.7	25.0	23.0	24.5	20.4
	4. 全く、またはほとんどない	77.5	77.3	77.6	73.7	73.0	76.1	74.5	77.5
	1. どちら((しようちゅう) そう)	1.5	1.3	1.8	3.9	2.0	0.0	0.0	2.5
	2. わりとそう	5.7	4.2	7.1	5.2	6.0	1.8	5.8	6.4
	3. こくたまにそう	28.5	29.2	27.7	20.8	30.0	27.4	25.7	31.4
	4. 全く、またはほとんどない	64.3	65.3	63.4	70.1	62.0	70.8	68.5	59.7
⑦ 様子	1. どちら((しようちゅう) そう)	1.2	2.1	0.4	2.6	2.0	0.9	0.5	2.1
	2. わりとそう	7.8	7.7	7.9	11.7	12.2	8.0	6.3	7.9
	3. こくたまにそう	14.0	12.5	15.5	14.3	15.3	16.8	12.6	15.8
	4. 全く、またはほとんどない	77.0	77.7	76.2	71.4	70.5	74.3	80.6	74.2

質問項目	全 体	性 別					年 別				
		男 子	女 子	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年		
子どもの現状	1. とても(しょっちゅう)そう	3.7	5.6	2.0	2.7	3.0	5.3	2.6	5.4	3.0	
	2. わりとそう	26.3	31.5	21.5	25.3	28.0	24.8	21.8	29.2	27.3	
	3. ごくたまにそう	38.3	37.3	39.1	36.0	34.0	41.6	41.4	37.1	37.9	
	4. 全く、またはほとんどない	31.7	25.6	37.4	36.0	35.0	28.3	34.2	28.3	31.8	
	1. とても(しょっちゅう)そう	0.6	0.6	0.6	1.3	1.0	0.0	0.0	0.0	1.5	
	2. わりとそう	2.1	1.7	2.6	1.3	3.0	0.9	2.1	2.5	2.2	
	3. ごくたまにそう	8.2	8.5	7.9	11.8	12.0	8.0	6.8	10.4	4.9	
	4. 全く、またはほとんどない	89.1	89.2	88.9	85.6	84.0	91.1	91.1	87.1	91.4	
	1. とても(しょっちゅう)そう	0.6	0.6	0.6	2.6	2.0	0.0	0.0	0.8	0.0	
	2. わりとそう	1.7	1.5	2.0	2.6	1.0	3.5	2.1	0.4	1.9	
学校生活	3. ごくたまにそう	23.2	22.9	23.4	31.2	29.0	23.0	25.4	22.4	17.7	
	4. 全く、またはほとんどない	74.5	75.0	74.0	63.6	68.0	73.5	72.5	76.4	80.4	
	1. とても(しょっちゅう)そう	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	2. わりとそう	0.3	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.8	0.0	
	3. ごくたまにそう	8.2	9.4	7.1	10.4	12.0	8.9	6.3	10.3	5.3	
	4. 全く、またはほとんどない	91.5	90.0	92.9	89.6	88.0	91.1	93.2	88.9	94.7	
	1. とても(しょっちゅう)そう	0.4	0.2	0.6	0.0	0.0	0.9	0.0	0.8	0.4	
	2. わりとそう	3.4	3.3	3.4	5.2	4.0	1.8	4.2	2.9	3.0	
	3. ごくたまにそう	21.2	22.9	19.6	18.2	20.0	25.0	24.5	21.7	18.2	
	4. 全く、またはほとんどない	75.0	73.6	76.4	76.6	76.0	72.3	71.3	74.6	78.4	
友人関係	1. とても(しょっちゅう)そう	0.3	0.2	0.4	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.7	
	2. わりとそう	2.9	1.5	4.3	2.6	4.0	2.7	0.5	4.1	3.3	
	3. ごくたまにそう	22.2	19.9	24.3	28.6	24.0	28.3	17.2	21.6	21.2	
	4. 全く、またはほとんどない	74.6	78.4	71.0	68.8	71.0	69.0	82.3	74.3	74.8	
	1. とても(しょっちゅう)そう	1.1	0.8	1.4	0.0	0.0	0.9	0.5	2.5	1.1	
	2. わりとそう	2.7	2.7	2.8	0.0	0.0	0.9	1.0	4.5	4.9	
	3. ごくたまにそう	17.0	13.3	20.5	9.0	7.0	17.0	12.5	16.9	26.2	
	4. 全く、またはほとんどない	79.2	83.2	75.3	91.0	93.0	81.2	86.0	76.1	67.8	
	1. とても(しょっちゅう)そう	7.4	8.3	6.6	6.4	8.8	5.4	9.4	7.4	6.7	
	2. わりとそう思ふ	47.2	46.5	47.9	48.7	53.0	46.9	44.0	47.6	46.6	
おとどけ	3. 少しそう思ふ	26.5	25.8	27.1	30.8	23.5	34.2	26.7	22.1	27.0	
	4. あまりそう思わない	17.3	17.1	17.4	12.8	14.7	12.6	18.3	21.7	16.7	
	5. ぜんせんちがう	1.6	2.3	1.0	1.3	0.0	0.9	1.6	1.2	3.0	

● 資料 2 基礎集計表

質問項目	全 体	性 別						年 別
		男 子	女 子	1 年	2 年	3 年	4 年	
どの時間に場所時間慣習	1. とてもそう思う	4.6	4.1	5.1	6.4	7.9	5.4	3.1
	2. わりとそう思う	16.2	15.6	16.8	23.1	26.7	17.0	15.6
	3. 少しそう思う	29.2	26.7	31.6	21.8	28.7	32.1	29.1
	4. あまりそう思わない	36.2	38.8	33.6	39.7	24.8	37.5	38.1
	5. せんせんちがう	13.8	14.8	12.9	9.0	11.9	8.0	12.0
どんなタイプの子	1. とてもそう思う	14.7	10.9	18.2	11.5	13.9	16.1	14.1
	2. わりとそう思う	30.4	26.4	34.2	38.6	32.6	30.3	26.6
	3. 少しそう思う	27.0	28.0	26.1	20.5	25.7	25.9	28.6
	4. あまりそう思わない	24.1	29.8	18.8	25.6	24.8	24.1	27.6
	5. せんせんちがう	3.8	4.9	2.7	3.8	3.0	3.6	3.1
感じや特徴	1. とてもそう思う	13.1	15.1	11.2	17.9	17.6	14.2	9.8
	2. わりとそう思う	27.7	28.5	27.1	35.9	27.5	25.7	29.4
	3. 少しそう思う	30.8	31.1	30.6	23.1	36.2	32.7	30.4
	4. あまりそう思わない	23.0	20.6	25.1	20.5	16.7	23.9	23.7
	5. せんせんちがう	5.4	4.7	6.0	2.6	2.0	3.5	6.7
夫婦の子育て	1. とてもそう思う	2.9	3.9	1.9	5.1	3.0	3.6	1.6
	2. わりとそう思う	6.0	6.4	5.7	9.0	6.9	6.3	7.8
	3. 少しそう思う	12.0	11.0	13.1	11.5	11.9	12.5	11.4
	4. あまりそう思わない	35.5	33.3	37.6	44.9	39.6	37.5	30.6
	5. せんせんちがう	43.6	45.4	41.7	29.5	38.6	40.1	48.6
思ひ立たない子育て	1. とてもそう思う	24.9	24.9	24.8	20.5	28.4	19.6	29.2
	2. わりとそう思う	42.3	43.7	41.1	55.1	47.1	41.1	33.9
	3. 少しそう思う	25.0	22.8	27.1	23.1	20.6	31.3	29.2
	4. あまりそう思わない	6.5	7.0	6.0	1.3	2.9	8.0	5.6
	5. せんせんちがう	1.3	1.6	1.0	0.0	1.0	0.0	2.1
自分を現す	1. とてもそう思う	10.7	13.2	8.4	7.7	13.7	10.8	10.8
	2. わりとそう思う	22.6	24.3	21.0	25.6	25.5	29.7	14.4
	3. 少しそう思う	30.8	28.5	32.9	25.6	21.6	34.3	30.4
	4. あまりそう思わない	26.6	24.9	28.2	33.4	26.5	21.6	31.0
	5. せんせんちがう	9.3	9.1	9.5	7.7	12.7	3.6	13.4
ひなびたる	1. とてもそう思う	8.1	6.8	9.3	10.3	10.8	8.9	6.2
	2. わりとそう思う	18.3	16.9	19.7	16.7	24.5	14.3	14.4
	3. 少しそう思う	25.3	25.3	25.3	25.6	25.5	31.3	27.7
	4. あまりそう思わない	30.9	32.5	29.3	34.6	25.5	32.1	31.5
	5. せんせんちがう	17.4	18.5	16.4	12.8	13.7	13.4	19.5

質問項目	全 体	性 別					年 別				
		男 子	女 子	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	7 年	8 年
⑤ おとなしい子	1. とてもそう思う 2. わりとそう思う 3. 少しそう思う 4. あまりそう思わない 5. ぜんぜんちがう	7.9 27.8 24.1 29.2 11.0	7.2 26.4 23.7 30.1 12.6	8.5 29.2 24.5 28.3 9.5	6.4 25.6 26.9 32.1 9.0	3.9 30.4 19.6 29.4 16.7	6.3 26.8 18.8 38.3 9.8	6.7 25.8 25.3 30.3 11.9	8.2 28.8 23.5 27.6 11.9	11.1 28.4 26.9 25.1 8.5	
	1. とてもそう思う 2. わりとそう思う 3. 少しそう思う 4. あまりそう思わない 5. ぜんぜんちがう	4.4 14.2 21.5 37.7 22.2	4.7 12.4 23.5 36.1 23.3	4.1 15.9 19.6 39.2 21.2	2.6 14.1 23.1 39.7 20.5	3.9 20.6 22.5 29.5 23.5	2.7 14.3 21.4 46.4 15.2	3.6 9.3 21.6 41.8 23.7	4.9 15.2 18.9 37.5 23.5	5.9 14.4 22.9 33.9 22.9	
	1. 環境になかなか慣れなかった 2. 少し慣れるのに時間がかかった 3. すぐ慣れるタイプだった	11.4 49.8 38.8	11.2 49.7 39.1	11.6 49.9 38.5	12.7 57.8 32.4	9.8 54.1 32.1	13.8 44.2 43.8	12.0 51.4 38.5	10.1 51.4 41.0	11.4 47.6 30.0	
	1. 環境になかなか慣れなかった 2. 少し慣れるのに時間がかかった 3. すぐ慣れるタイプだった	3.5 43.9 52.6	2.9 40.6 56.5	4.1 46.9 49.0	0.0 40.3 59.7	5.8 50.0 44.2	2.8 47.7 49.5	3.1 40.8 56.1	4.9 40.7 54.4	3.0 46.1 50.9	
	1. 環境になかなか慣れなかった 2. 少し慣れるのに時間がかかった 3. すぐ慣れるタイプだった	1.3 38.9 59.8	1.1 36.3 62.6	1.5 41.3 57.2	0.0 45.8 54.2	0.0 43.3 56.7	0.0 39.4 58.8	1.8 33.2 65.2	1.6 41.9 57.3	0.8 37.6 60.6	
⑦ どか坦々するが	1. 環境になかなか慣れやすかった 2. 少し慣れるのに時間がかかった 3. すぐ慣れるタイプだった	2.0 38.9 59.8	2.2 36.3 62.6	1.9 41.3 57.2	2.1 45.8 54.2	1.2 43.3 56.7	3.6 39.4 58.8	1.6 33.2 65.2	0.8 41.9 57.3	0.8 37.6 60.6	
	1. 環境になかなか慣れやすかった 2. 少し慣れるのに時間がかかった 3. すぐ慣れるタイプだった	44.0 54.0 56.3	41.5 56.3 51.6	46.5 56.3 59.6	38.3 51.6 47.0	51.8 59.6 45.5	50.9 51.8 61.4	37.0 50.9 52.5	46.7 42.2 54.8	1.8 37.6 50.9	
	1. 環境になかなか慣れなかった 2. 少し慣れるのに時間がかかった 3. すぐ慣れるタイプだった	1.3 35.6 63.1	1.1 33.9 65.0	1.4 37.2 61.4	0.0 32.7 60.2	3.2 41.1 57.0	1.9 41.1 65.8	0.5 33.7 61.2	0.8 38.0 65.7	1.5 32.8 65.7	
	1. かなり考えられる 2. もしかしたらあるかもしれない 3. まあないだろう 4. 絶対にない	1.4 15.9 59.2 23.5	1.0 14.6 62.1 22.3	1.8 17.2 56.3 24.7	1.3 48.0 41.6 9.1	4.0 27.3 51.5 17.2	1.8 26.4 63.6 8.2	0.0 14.4 69.0 16.6	2.0 10.2 63.0 24.8	0.7 4.5 54.7 40.1	
⑧ 可能校拒否になる	1. かなり考えられる 2. もしかしたらあるかもしれない 3. まあないだろう 4. 絶対にない	1.9 30.6 55.7 11.8	1.9 33.1 54.6 10.4	1.8 28.3 56.9 13.0	4.3 47.9 39.1 8.7	3.1 33.7 54.0 9.2	2.8 41.1 47.7 8.4	0.5 27.4 61.3 10.8	1.2 30.0 57.3 11.5	1.9 23.6 58.8 15.7	

● 資料2 基礎集計表

質問項目	回答	全 体				性 別				年 齢 別			
		男 子	女 子	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	1.1	0.8	0.8	1.1
①	高 校 で は な る 可 能 性 に な る	1. かなり考えられる 2. もしかしたらあるかもしない 3. まあないだろう 4. 絶対にない	1.5 28.4 58.6 11.5 22.3	1.5 31.5 56.9 10.1 22.4	1.4 25.4 60.3 12.9 23.4	4.3 50.8 37.7 7.2 28.2	3.1 30.9 57.8 8.2 26.9	2.8 35.5 53.3 8.4 22.3	0.0 25.9 63.8 10.3 19.9	0.0 29.3 58.3 11.6 19.9	0.8 29.3 58.3 11.6 19.9	0.8 29.3 58.3 11.6 19.9	1.1 19.5 63.4 16.0 20.1
②	強の親に させ方をつ けを抱け し方先 で先生に もを指 う強導 子と子 子に育て するや さしくつ にするや さしくつ にく する人 ら20 い人	1. ゼひそうするべき 2. まあしたほうがよい 3. あまり必要ない 4. 必要ない(関係ない)	1.5 46.6 25.0 6.1	1.5 44.3 27.5 6.0	1.4 48.7 22.6 6.3	4.3 54.5 18.2 3.9	3.1 47.5 19.4 4.9	2.8 43.4 24.1 5.6	0.0 46.2 26.6 4.9	0.0 45.6 27.4 7.1	0.8 45.6 27.4 7.1	0.8 46.2 26.1 7.6	1.1 19.5 63.4 16.0 20.1
③	高 校 で は な る 可 能 性 に な る	1. ゼひそうするべき 2. まあしたほうがよい 3. あまり必要ない 4. 必要ない(関係ない)	1.5 46.8 16.6 3.0	1.5 44.0 17.3 3.8	1.4 49.4 15.9 2.2	4.3 50.6 11.7 1.3	3.1 51.0 12.7 1.0	2.8 44.0 17.4 2.8	0.0 51.4 10.9 3.8	0.0 41.9 19.8 2.1	0.8 46.5 20.2 4.5	0.8 46.5 20.2 4.5	1.1 19.5 20.2 20.2 20.2
④	高 校 で は な る 可 能 性 に な る	1. ゼひそうするべき 2. まあしたほうがよい 3. あまり必要ない 4. 必要ない(関係ない)	1.5 37.5 30.1 8.7	1.5 38.1 28.0 9.1	1.4 37.1 32.0 8.3	4.3 39.7 38.5 6.4	3.1 44.6 30.7 5.9	2.8 35.1 26.9 13.0	0.0 34.4 26.9 8.1	0.0 39.9 30.1 6.6	0.8 35.4 27.8 6.6	0.8 35.4 27.8 6.6	1.1 19.5 27.8 10.9 10.9
⑤	高 校 で は な る 可 能 性 に な る	1. ゼひそうするべき 2. まあしたほうがよい 3. あまり必要ない 4. 必要ない(関係ない)	1.5 29.5 42.8 12.1	1.5 30.0 42.0 11.8	1.4 29.0 43.6 12.4	4.3 27.6 46.1 2.6	3.1 30.7 36.6 11.9	2.8 29.6 40.8 12.0	0.0 25.4 46.0 16.2	0.0 33.5 42.1 9.1	0.8 33.5 42.1 9.1	0.8 33.5 42.1 9.1	1.1 19.5 27.8 14.9 14.9
⑥	高 校 で は な る 可 能 性 に な る	1. ゼひそうするべき 2. まあしたほうがよい 3. あまり必要ない 4. 必要ない(関係ない)	1.5 31.0 31.5 29.3	1.5 34.3 30.4 27.1	1.4 28.0 32.4 31.4	4.3 38.4 24.4 32.1	3.1 41.0 29.0 21.0	2.8 35.8 31.2 26.6	0.0 25.4 28.6 35.2	0.0 33.0 31.8 26.9	0.8 33.0 31.8 26.9	0.8 33.0 31.8 26.9	1.1 19.5 28.6 30.9 30.9
⑦	高 校 で は な る 可 能 性 に な る	1. ゼひそうするべき 2. まあしたほうがよい 3. あまり必要ない 4. 必要ない(関係ない)	1.5 10.9 15.9 46.6	1.5 11.9 16.4 46.1	1.4 9.8 15.6 47.0	4.3 13.0 19.5 48.0	3.1 20.0 19.0 38.0	2.8 20.2 14.7 47.7	0.0 7.5 16.1 42.5	0.0 9.8 15.1 48.2	0.8 9.8 14.9 50.4	0.8 9.8 14.9 50.4	1.1 19.5 14.9 50.4
⑧	高 校 で は な る 可 能 性 に な る	1. ゼひそうするべき 2. まあしたほうがよい 3. あまり必要ない 4. 必要ない(関係ない)	1.5 27.7 42.1 25.5	1.5 29.3 40.2 26.7	1.4 26.3 43.8 24.4	4.3 37.6 32.5 28.6	3.1 29.4 44.1 21.6	2.8 28.7 47.3 19.4	0.0 27.0 42.2 26.5	0.0 30.2 37.2 26.5	0.8 30.2 22.1 26.6	0.8 30.2 22.1 26.6	1.1 19.5 22.1 26.6
⑨	高 校 で は な る 可 能 性 に な る	1. ゼひそうするべき 2. まあしたほうがよい 3. あまり必要ない 4. 必要ない(関係ない)	1.5 28.1 43.7 24.3	1.5 30.4 43.3 23.6	1.4 26.0 44.2 24.9	4.3 33.8 41.5 23.4	3.1 31.7 39.6 26.7	2.8 30.8 45.8 20.6	0.0 28.5 44.7 22.0	0.0 27.8 41.6 26.1	0.8 27.8 41.6 24.9	0.8 27.8 41.6 24.9	1.1 19.5 24.2 24.9
⑩	高 校 で は な る 可 能 性 に な る	1. ゼひそうするべき 2. まあしたほうがよい 3. あまり必要ない 4. 必要ない(関係ない)	1.5 3.9	1.5 2.7	1.4 4.9	4.3 1.3	3.1 2.0	2.8 4.8	0.0 4.5	0.0 4.5	0.8 4.5	0.8 4.5	1.1 19.5

質問項目	全 体	性 別					年 齢 別					学 年 別								
		男 子	女 子	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	男 子	女 子	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年			
年	1. 25~29歳 2. 30~34歳 3. 35~39歳 4. 40~44歳 5. 45~49歳 6. 50歳以上	2.1 18.2 45.1 29.9 4.6 0.1	0.8 17.5 47.5 29.8 4.3 0.0	3.3 18.8 43.1 5.1 4.8 0.2	7.6 53.1 32.9 5.1 1.3 0.0	3.8 43.8 36.2 16.2 0.0 0.0	5.5 28.4 47.7 15.6 2.8 0.0	1.6 15.0 51.3 29.0 3.1 0.0	0.0 8.9 50.4 36.7 3.6 0.4	0.7 4.8 42.1 42.4 10.0 0.0	1. もつてない（専業主婦） 2. パートタイムで働いている 3. 働いていないが、近いうちに働くつもり 4. フルタイムで働いている	42.2 32.1 5.2 20.5	42.3 33.3 5.8 18.6	42.0 31.0 4.7 22.3	60.8 17.7 2.5 19.0	46.1 25.0 7.7 21.2	47.3 27.3 4.5 20.9	45.6 28.3 5.2 20.9	34.4 37.2 7.3 21.1	37.9 39.1 3.3 19.7
母 親 に つ い て	幼稚園や保育園の頃	1. とても楽しかった 2. わりど楽しかった 3. まあふつう 4. あまり楽しくなかった 5. ぜんぜん楽しくなかった	25.9 25.6 38.1 7.4 3.0	23.8 26.2 39.7 7.4 2.9	27.8 25.0 36.6 7.5 3.1	26.6 26.6 40.5 4.7 1.6	28.9 32.6 31.3 3.6 3.6	21.1 15.5 47.9 11.3 4.2	28.5 21.5 37.0 9.2 3.8	27.9 24.6 38.6 6.1 2.8	22.0 30.1 36.9 8.7 2.3									
母 親	子ども時代、学校に行くの頃	1. とても楽しかった 2. わりど楽しかった 3. まあふつう 4. あまり楽しくなかった 5. ぜんぜん楽しくなかった	25.8 26.0 26.0 40.5 6.1	25.5 27.4 27.4 39.7 6.2	26.1 24.8 24.8 41.2 6.0	28.2 25.6 25.6 42.4 6.0	28.2 31.1 31.1 32.0 3.8	25.7 20.2 20.2 44.0 6.8	28.3 21.5 21.5 40.3 9.2	23.9 29.1 29.1 40.1 5.7	24.3 27.0 33.7 41.9 4.9									
身 体	高校生の頃	1. とても楽しかった 2. わりど楽しかった 3. まあふつう 4. あまり楽しくなかった 5. ぜんぜん楽しくなかった	31.1 35.2 8.3 1.2 26.3	32.7 35.5 8.2 1.4 27.9	32.9 25.3 8.3 1.0 24.8	29.1 30.1 15.2 0.0 30.4	26.4 40.9 10.9 1.0 27.2	24.0 40.9 10.9 3.6 27.3	25.8 35.9 6.8 1.0 22.4	22.2 39.1 6.9 1.2 26.7										
の ど	中学生の頃	1. とても楽しかった 2. わりど楽しかった 3. まあふつう 4. あまり楽しくなかった 5. ぜんぜん楽しくなかった	30.9 33.9 33.9 1.2 2.0	31.0 32.8 32.8 1.4 1.9	30.8 34.9 34.9 1.0 2.1	29.1 32.9 32.9 0.0 2.5	24.5 34.6 34.6 1.9 1.9	32.8 39.1 39.1 5.2 0.5	31.6 33.2 33.0 7.3 1.2	32.1 33.7 7.0 0.7 3.0										
と か	高校生の頃	1. とても楽しかった 2. わりど楽しかった 3. まあふつう 4. あまり楽しくなかった 5. ぜんぜん楽しくなかった	31.6 7.3 2.4 31.9 2.0	31.9 7.0 2.3 31.4 1.9	32.5 6.5 1.3 27.4 2.1	26.3 10.5 1.3 37.9 1.9	42.5 10.1 4.2 33.3 26.0	27.6 10.1 2.0 33.1 28.9	27.6 30.9 2.4 33.4 25.6											